

業 務 概 要

－令和6年度のまとめ－

京都府立京都学・歴彩館

項 目		頁
1	京都学・歴彩館について	1
2	利用者、資料収集・所蔵状況（全体概要）	2
	利用者等の状況	2
	館蔵資料の収集・所蔵状況	3
3	京都学研究推進の主な取組	3
	海外若手研究員受入事業	3
	京都学デジタル資料閲覧	4
	文化資源発掘プロジェクトによる共同研究	4
4	展示、シンポジウム、講座等、情報発信の取組	6
5	大・小ホール、学習室について	16
6	京都資料総合閲覧室の利用状況	17
7	館蔵資料等の撮影と複写	23
8	資料の貸与	24
9	図書館間相互貸出	27
10	共催事業等	27
11	資料の収集・整理・保存	30
	図書資料	31
	行政文書	35
	文書の保存と複製資料の作成	35
	管理委託現物資料	36
12	調査	37
	行政文書	37
13	京都府行政文書修理事業	37
14	図書館実習・インターンシップ	37
15	新聞掲載等	37
16	ウェブ提供サービスのまとめ	38
17	施設の状況	41
18	組織・職員数・業務分担・予算	41
19	令和6年度の主な活動	43
20	沿革	45
	参考資料	50

1 京都学・歴彩館について

○「京都学・歴彩館」とは

「京都学・歴彩館」は府民に京都の文化、歴史等に関する学習及び交流の場を提供するとともに、京都に関する資料等を収集して、保存し、さらに公開することにより、京都における文化の発展及び学術の振興に資するため設置された。京都は日本文化のふるさとであり、京都に関する歴史・文化の研究は、日本文化全体と大きく繋がっている。京都学・歴彩館では、京都や京都との関わりの中で成立・発展してきた特色を研究していくことを京都学にとらえ、これを推進・発信することで京都文化のさらなる発展を目指すことを目標としている。

「京都学・歴彩館」の名称については、新たな機能である京都文化の研究推進を「京都学」に込めている。そして、「順を追っていく」、「代々にわたる」といった意味を持つ「歴」と、色どりの美しさを表す「彩」により、文化や歴史の数々が時代を超えて輝きを放ち続け、次代へと受け継がれていくことを「歴彩」と表現している。

○京都学・歴彩館の建物について

建物は、京都府立大学の図書館や文学部研究室も同居する複合施設となっている。1階は交流フロアとして展示室や大小ホール、京都学ラウンジなどがあり、にぎわいと交流が生まれることを期待している。2階は探究フロアとして京都に関する各種資料や大学所蔵資料が閲覧できるよう約350席を設けた閲覧室があり、3・4階は府立大学文学部の研究室、演習室等が設置されている。

探究フロアの京都資料総合閲覧室にある図書資料は約2万冊で、京都の歴史・地理に関する資料や、京都府、府内市町村が発行した資料等を並べているほか、1階展示室で行う展示に関する「資料紹介コーナー」を設けるなど、館全体で一体となって交流・探究の場を提供している。

○京都学・歴彩館の取組等について

京都学・歴彩館の役割は三つあり、まず京都に関する図書資料、古文書、行政文書、写真資料等約90万点の収集・保存・公開を進めることであり、さらに「京都の資料を京都で閲覧する」ために、京都所在の膨大な資料のデジタル閲覧を進めることである。二つ目は府内各地域の文化資源を発掘し、府内の大学・研究機関と連携しながら研究を深めること。三つ目は海外の研究者を招へいし、京都文化を研究してもらうこと。この三点を柱として交流・探究を進め、講演会やシンポジウムを通じて、「京都学」を発信していきたいと考えている。

また、令和2年度から一部指定管理者制度を導入しており、指定管理者主催・当館共催による講座・展示等の事業も実施している。

これからも京都学・歴彩館の場所・人・資料などの資源を用いて府民の方へ様々な形で発信していきたい。そして、府民の皆さんが資料を手に取り、研究や調査を進め、その成果を発表したり、交流したりすることが出来る拠点としていきたいと考えている。

京都府立京都学・歴彩館 館長 金田章裕

2 利用者、資料収集・所蔵状況（全体概要）

（１）利用者等の状況

○1階（交流フロア）、2階（探究フロア）の利用者数等について
（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

事 項	利用者数等	事 項	利用者数等
展示室	12,527人	出納件数	8,032件
京都学ラウンジ	5,150人	書庫の図書資料	7,013件
学習室	57,642人	古文書等	384件
大ホール	24,598人	行政文書	604件
小ホール	13,023人	写真資料	1件
2階 探究フロア （府立大附属図書館含む）	122,638人	近代文学資料	30件
その他	4,553人	相談件数	8,316件
合計	240,131 人	資料の使用※ （管理委託現物資料含む）	40件 419点
		資料の利用※ （管理委託現物資料含む）	104件 310件
		資料の複写	6,651件 125,262枚
開館日数	325日 ※2階：314日	資料の館外貸与 （管理委託現物資料含む）	37件 158点（冊）
一日平均利用者数	739人		

※「資料の使用」

管理規程及び複写等により入手したものを利用者が活用する場合

（利用規程：資料特別閲覧複写申請書、複写申込書、自写申請書）

※「資料の利用」

上記以外の利用規程、行政文書取扱規程及び閲覧、複写したものを活用する等の利用者が行う行為全般の場合

(2) 館蔵資料の収集・所蔵状況

資料区分		令和6年度受払状況							累計 (令和7年 3月31日現在)
		受入					払出	計	
		購入	寄贈	取得	保管換移 管引渡等	計			
図書資料	図書資料	796	1,770	696	—	3,262	38	3,224	418,353冊
	西山文庫資料※1	—	19,143	—	—	19,143	—	19,143	19,143点
	その他※2	—	—	—	—	—	—	—	1,728点
	小 計	796	20,913	696	—	22,405	38	22,367	439,224(点)
文書資料	古文書	—	169	—	—	169	—	169	144,923点
	行政文書	—	—	—	1,536	1,536	—	1,536	104,741点
	写真資料	—	—	—	—	—	—	—	134,094点
	近代文学資料	—	—	—	—	—	—	—	26,881点
	その他※3	—	—	—	—	—	—	—	256点
	小 計	0	169	0	1,536	1,705	—	1,705	410,895点
※4 管理委託 現物資料	美術工芸資料	—	36	—	—	36	—	36	11,720点
	歴史民俗資料	—	9	—	—	9	—	9	20,083点
	その他※5	—	13	—	—	13	—	13	23,705点
	小 計	0	58	0	0	58		58	55,508点
合 計		796	21,140	696	1,536	24,168	38	24,130	905,627冊(点)

※¹ 西山卯三氏（1911-1994、京都大学名誉教授）の作成した資料の保管をしているNPO法人西山卯三記念すまい・まちづくり文庫から、寄贈を受けた住宅に関する研究資料や自筆の図面であり、図書とは別の目録データにより管理している。

※² 版木ほか。

※³ 鳥類はく製、京都府旧公印ほか。

※⁴ 京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託した美術工芸資料等の現物資料（管理委託現物資料の一部は、中京区の京都府施設に収蔵）。

※⁵ 吉川観方コレクション、江馬務コレクションほか。

上記に加え、京都関係パンフレット167冊をKパンフレットとして簡易整理し、総数3,298冊を「京の記憶アーカイブ」京都関係雑誌記事論文と共に検索できるようにしました。

3 京都学研究推進の主な取組

(1) 海外若手研究員受入事業

当館と覚書を締結した国内外の日本文化研究機関から推薦された優秀な外国人若手研究者を選考の上、「京都学研究員」として招へいし、研究支援を行いました。

京都学研究員には、受入期間中、京都研究・日本研究に従事いただくとともに、「府民向けセミナー」においてその研究成果を発表いただきました。

覚書締結機関：計7（海外4・国内3）機関

- ・セインズベリー日本藝術研究所（イギリス）
- ・国立高等研究実習院（フランス）

- ・国立台湾大学文学院日本研究センター（台湾）
- ・南カリフォルニア大学（アメリカ）
- ・京都大学大学院文学研究科
- ・東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻
- ・京都府立大学

京都学研究員（令和6年度）

氏名（敬称略）	国・地域	専 門	研究テーマ	受入期間
マルタン・ノゲラ・ラモス	フランス	日本近世・近代史	1880年代の新聞からみる日本社会におけるフランス人カトリック宣教師の活動：マラン・プレシ（大阪・高知）とエメ・ヴィリヨン（京都）の事例	令和6年7月1日～令和6年10月4日
ハン・ジヘ	韓国	グローバル社会専攻・比較日本研究	東松照明と「京都」シリーズ	令和7年1月9日～令和7年3月19日

（2）京都学デジタル資料閲覧

当館では、平成29年2月5日に締結した公益財団法人陽明文庫及び東京大学史料編纂所との覚書に基づき、公益財団法人陽明文庫の協力により東京大学史料編纂所が作成した、陽明文庫が所蔵する近衛家伝来資料のデジタル画像約5万点の公開を平成29年4月27日から開始しました。

また、賀茂別雷神社所蔵資料のデジタル画像公開に関する覚書を令和3年5月13日に賀茂別雷神社と締結し、緊急事態宣言解除後の同年6月1日から試行的に一部資料（985点、3,556コマ）の閲覧供用を開始しました。

デジタル閲覧資料について、その後も、追加登録作業を行っており、現在、約6万コマの閲覧が可能です。

令和6年度閲覧利用の実績

閲覧利用延人数	72人
閲覧利用資料数	21,197件
閲覧ページ数	24,760ページ

（備考：令和6年4月1日～令和7年3月31日実績）

（3）文化資源発掘プロジェクトによる共同研究

府内大学・研究機関との連携及び京都府域の文化資源発掘を目指し「京都府立京都学・歴彩館」プレ事業として平成27年度から開始した「文化資源発掘プロジェクト」では、第一段階の取組として「洛北の文化資源」にスポットをあて、府内大学・研究機関の研究者とともに研究会を発足し、共同研究に取り組みました。その後、引き続き府内各地域の文化資源を

掘り起こし、その魅力を紹介する共同研究を推進しています。

当プロジェクトは、初年度に共同研究会を発足して研究を進め、2 年目に共同研究会報告書を取りまとめるとともにその成果をもとにした一般書籍を刊行、3 年目には各研究者に研究成果を発表いただくセミナーを連続シリーズで開催しています。

令和 6 年度においては、『京都を学ぶ【丹後編】』（令和 5 年度刊行）の内容を府民にわかりやすくお伝えする「京都を学ぶセミナー【丹後編】」を開催するとともに、「洛南の文化資源」共同研究会（令和 5 年度発足）の報告書を取りまとめ、『京都を学ぶ【洛南編】』を令和 7 年 3 月に刊行しました。また、新たに「洛中の文化資源」共同研究会を発足し、研究活動を開始しています。

丹後の文化資源共同研究参加メンバー（令和 4～6 年度）

（五十音順 敬称略 肩書は令和 4 年度時 テーマは研究報告書タイトル）

河原 典史	立命館大学文学部 教授
	丹後・伊根浦における舟屋集落の変遷—海を見せる・魅せる意味—
高野 陽子	京都府埋蔵文化財調査研究センター
	丹後の弥生王墓と遠隔地地域間交流
高橋 克壽	花園大学文学部 教授
	日本海三大古墳が丹後に築かれた意味
菱田 哲郎	京都府立大学文学部 教授
	祭祀遺跡から神社へ—古代丹後の信仰を遺跡から考える—
町田 香	京都芸術大学日本庭園・歴史遺産研究センター 研究員
	丹後地域の日本庭園に関する基礎調査
山田 徹	同志社大学文学部 准教授
	室町期丹後国荘郷・領主研究序説—「丹後国惣田数帳」の基礎的考察—
松浦 智博	京都府立京都学・歴彩館
	丹後田辺藩京都留守居の職務
吉岡 直人 林 奈緒子	京都府立京都学・歴彩館
	『丹後国分寺再興縁起』の研究

洛南の文化資源共同研究参加メンバー（令和 5～7 年度）

（五十音順 敬称略 肩書は令和 5 年度時 テーマは研究報告書タイトル）

小池 寛	京都府埋蔵文化財調査研究センター
	考古学からみた洛南地域の遠隔地地域間交流
中谷 正和	京都市埋蔵文化財研究所
	京都盆地南西部の旧河道について
東 昇	京都府立大学文学部 教授
	近世築山・吉祥院村の神主と御所・公家・大名・村
平井 俊行	八幡市立松花堂庭園・美術館
	近代松花堂移転時期・経緯の再検討
藤本 仁文 竹中友里代	京都府立大学文学部 准教授
	京都府立大学文学部 特任講師
	石清水八幡宮の神仏分離と行教信仰

吉永 隆記	京都精華大学国際文化学部 特任講師
	洛南地域における久我家領の変容と地域社会
杉本 弘幸	京都府立京都学・歴彩館
	第一回男子普通選挙における既成政党支持基盤の変容—京都第二区における政友会長田桃蔵を中心に—
林 奈緒子	京都府立京都学・歴彩館
	近世石清水放生会の再興と公家

洛中の文化資源共同研究参加メンバー（令和6～8年度）

（五十音順 敬称略 肩書は令和6年度時 テーマは契約時のもの）

田中 聡	立命館大学文学部 教授
	三条釜座鋳物師からみる近世釜座町の住民構成と組織
福井 亘	京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授
	洛中における鳥から見た生物多様性
藤本 仁文	京都府立大学文学部 准教授
	近世京都の町組自治について
松吉 祐希	京都市埋蔵文化財研究所
	洛中を囲う御土居
美川 圭	立命館大学文学部 教授
	冷泉家と京都の歴史
山村 亜希	京都大学大学院地球環境学堂 教授
	洛中の都市空間構造に関する歴史地理学研究
今村 凌	京都府立京都学・歴彩館
	平安京における物資の集積と保管
中西 大輔	京都府立京都学・歴彩館
	江戸時代の京都を中心とした大工組織に関する調査

4 展示、シンポジウム、講座等、情報発信の取組

◆ 展示

○ 企画展

期 間	名 称	場 所	入場者数
令和6年 4月13日(土)～ 6月9日(日) (4/29、5/3～6、 8は休館) [開場日数 52 日]	「林康夫・坪井明日香展—前衛表現の気概—」 ・展示品: 27点 ・附帯事業: ギャラリートーク ・概要: 林康夫・坪井明日香の二人の京都を代表する前衛陶芸家の作品が、京都府へ寄贈されたことを記念して開催。 本展では、戦後の前衛陶芸を語る上では、外せない林康夫・坪井明日香の二人の作品の魅力を紹介。	1 階 展示室	<u>1,392人</u> (27人/日) ギャラリー トーク 4/25: 32人 5/16: 8人 5/30: 9人

令和6年 7月13日(土)～ 9月8日(日) (7/15、8/11、 12、14は休館) [開場日数 54 日]	「令和6年度京都府ミュージアムフォーラム合同 展覧会「スポットライト～今、ミュージアムが 光を当てたい逸品展～」」 ・共催:京都府ミュージアムフォーラム ・展示品:44点 ・附帯事業:ギャラリートーク、出張体験教室 ・概要:丹後、丹波、山城地域の京都府ミュージアムフォーラム加盟館の所蔵品でたどる展覧会。 本展では、「スポットライト」をテーマに、 今、ミュージアムが光を当てたい逸品展を開催	<u>3,034人</u> (56人/日) ギャラリー トーク 8/1:19人 8/22:18人 8/29:9人
令和6年 9月14日(土)～ 11月10日(日) (9/16、22、23、 10/9、14、11/3、4 は休館) [開場日数 51 日]	「令和6年度特別展 京都府立植物園開園100周 年記念「植物園のはじまりと100年の森」」 ・展示品:69点 ・附帯事業:ギャラリートーク ・概要:京都府立植物園のはじまりと100年の歩 みを題材にした特別記念展示。 植物園の設計に携わった寺崎良策技師が、同 じく携わった明治神宮関係資料も、あわせて展 示し、東西の都での森創りを紹介。 唐紙師トトアキヒコ氏とともに創作した文様 の唐紙も合わせて展示。	<u>2,765人</u> (54人/日) ギャラリー トーク 10/17:13人 10/25:6人
令和6年 12月14日(土)～ 令和7年 1月7日(火) (12/28～R7.1/4 は休館) [開場日数 17 日]	「第7回府大生∞歴彩館コラボで探る京都学ー 京都府立大学の学生・大学院生が企画した歴彩 館所蔵古典籍・資料展ー」 ・附帯事業:展示解説(歴史学科) ・概要:文学部の各学科が、それぞれの特色を 活かしたテーマで歴彩館資料を展示。 日本・中国文化学科「中国古典籍の世界」 国際文化交流学科「建築家武田五一と京都にお ける近代建築」 歴史学科「京都の災害」成果発表 (「宇治川の水害と防災」、「鴨川の洪水と 人々」、「天明の大火」、「天保の飢饉と京 都」、「京都の地震からみる地震観の変遷」) ・展示解説集を配布。	<u>671人</u> (39人/日) 展示解説 (歴史学科) : 37人
令和7年 1月11日(土) ～3月9日(日) (1/13、2/11、 12、23、24は休 館) [開場日 53 日]	冬季特別展「没後100年 今尾景年展 精緻なる花 鳥画」 ・展示品:42点 ・附帯事業:ギャラリートーク ・概要:京都府コレクションにより没後100年を 記念して50年ぶりの開催。 本展では、明治から大正にかけて活躍した京 都画壇の大家であり、写生に基づいた鮮やかで	<u>4,052人</u> (76人/日) ギャラリー トーク 1/30:79人 2/27:111人 3/6:87人

	精緻な花鳥画を多く描き、国内外の博覧会などで高い評価を得た今尾景年の画業を紹介。	
合計		11,914 人

○ 常設展等

・1階京都学ラウンジ常設展示 吉田初三郎 「京都名所大鳥瞰図」

・ホワイエ、光庭展示

期 間	場 所	作家・作品名等
令和6年2月14日(水) ～令和6年6月12日(水)	光庭2	小牧徳満「境界」
令和6年6月12日(水) ～令和6年10月9日(水)	光庭2	西見智之「犬と共に」
令和6年10月9日(水) ～令和7年2月12日(水)	光庭2	岩重圭子「ひとときの春」他
令和7年2月12日(水) ～令和7年6月11日(水)	光庭2	横田朋子「春の夢、情熱と冷静」

・1階京都学ラウンジ パネル展示

期 間	名 称	協 力
令和6年3月26日(火) ～5月7日(火)	府大生による…探検！発見！歴彩館 ーコラボで探る京都学ー (10)	京都府立大学文学部歴史学科
令和6年5月9日(木) ～6月28日(金)	京都府の文化財 ～令和5年度府指定・登録文化財～	京都府文化財保護課
令和6年6月29日(土) ～7月31日(水)	府大生による…探検！発見！歴彩館 ーコラボで探る京都学ー (11)	京都府立大学文学部歴史学科
令和6年8月1日(木) ～8月30日(金)	京都府立京都学・歴彩館所蔵の江戸時代の画譜	
令和6年8月31日(土) ～9月30日(月)	府立大学 A C T R (地域貢献型特別研究) 研究成果パネル展	京都府立大学京都地域未来創造センター
令和6年10月1日(火) ～10月31日(木)	発掘された京都の歴史 2024	京都府埋蔵文化財調査研究センター
令和6年11月1日(金) ～12月10日(火)	植物園 100 周年記念の特別展示と新たな取り組み	京都府立植物園
令和6年12月12日(木) ～令和7年1月31日(金)	公益財団法人古代学協会の歩みとその事業	公益財団法人古代学協会
令和7年2月1日(土) ～3月18日(火)	京の伝統芸能を担う人々	嵯峨大念佛狂言保存会
令和7年3月19日(水) ～3月26日(水)	第 13 回子ども読書本のしおりコンテストの作品展	京都府教育委員会 京都府図書館等連絡協議会
令和7年3月27日(木) ～5月13日(火)	府大生による…探検！発見！歴彩館 ーコラボで探る京都学ー (12)	京都府立大学文学部歴史学科

・2階京都資料総合閲覧室前 パネル展示

期 間	コーナー名
令和6年5月9日(木) ～7月9日(火)	山陰線・京都丹後鉄道タイムトラベル
令和6年7月11日(木) ～10月8日(火)	日本列島 食文化めぐり
令和6年10月10日(木) ～12月17日(火)	江戸時代の植物図鑑
令和7年1月6日(月) ～3月11日(火)	『明月記』にみる藤原定家の天体観測
令和7年3月19日(水) ～3月26日(水)	「第13回子ども読書本のしおりコンテストの作品展」 (主催：京都府教育委員会・京都府図書館等連絡協議会) ※京都学ラウンジと2ヵ所で開催

◆ 講座

○ 海外若手研究員受入事業府民向けセミナー

海外から招へいた日本研究・京都研究の優秀な若手研究員による府民向けセミナーを開催しました。

年月日	内容・発表者（敬称略）	参加者数
令和6年 9月20日(金)	マルタン・ノゲラ・ラモス 「1880年代日本の出版物にみるカトリック教会の布教活動 —京都と高知の事例を中心に—」	59 人 小ホール
令和7年 3月11日(火)	ハン・ジヘ 「東松照明と《京まんだら》—ステレオタイプを超え、日本の アイデンティティを再考する—」	43 人 小ホール

○ 京都を学ぶセミナー「丹後編」

「丹後の文化資源」研究プロジェクトの成果を分かりやすく解説する「京都を学ぶセミナー【丹後編】」を開催しました。

年月日	内 容・講 師（敬称略）	参加者数
令和6年 5月22日(水)	<第1回> 講演 京都府立大学教授 菱田 哲郎 「祭祀遺跡から神社へ—丹後のカミマツリから—」	193 人 大ホール
令和6年 6月25日(火)	<第2回> 講演 京都芸術大学日本庭園・歴史遺産研究センター研究員 町田 香 「京都丹後地域の庭園文化」	145人 大ホール
令和6年 7月2日(火)	<第3回> 講演 花園大学教授 高橋 克壽 「日本海三大古墳が丹後に築かれた意味」	330 人 大ホール
令和6年 8月27日(火)	<第4回> 講演 同志社大学准教授 山田 徹 「丹後の荘園と京都の寺院—平安院政期から室町期へ—」	207 人 大ホール

令和6年 9月25日(水)	<第5回> 講演 立命館大学教授 河原 典史 「海を魅せつつける伊根浦の舟屋」	179 人 大ホール
令和6年 10月23日(水)	<第6回> 講演 公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター 高野 陽子 「丹後の弥生王墓と遠隔地地域間交流」	204 人 大ホール

○ 国際研究集会

科学研究費・基盤研究（A）「東アジアにおける工匠関連史料にもとづく建築生産史の再構築と技術蓄積・伝播の解明」（研究代表者：海野聡〔東京大学大学院工学系研究科准教授〕）、科学研究費・基盤研究（B）「中近世の建築関連史料の史料学的基盤構築と高度利用手法の開発」（研究代表者：藤井恵介〔東京大学名誉教授〕）、東京大学史料編纂所「天皇家・公家の「知」の体系としての文庫・宝蔵研究拠点創設」プロジェクト、東京大学史料編纂所2024年度一般共同研究「「中井家文書」を用いた大工組織の業務復元に関する基礎的研究」（共同所外研究代表者：角田真弓）、公益財団法人松井角平記念財団2023年度研究助成「「中井家文書」にみる寛政度と安政度の御所造営と継承理念」（研究代表者：海野聡）との共同主催で実施しました。

年月日	内 容・講師等（敬称略）	参加者数
令和6年 6月16日(日)	御所（宮殿）・邸宅造営関係資料の地脈と新天地 「宮内庁書陵部図書寮文庫所蔵「中井家文書」からみる造営現場の実態」 午前 中井家史料熟覧 午後 趣旨説明 東京大学大学院工学系研究科准教授 海野 聡 基調講演 谷 直樹（大阪市立大学名誉教授） 「中井家の建築史研究と中井家資料の修理保存」 個別報告 海野 聡 「桂離宮の用材にみる設計思想と造営現場の接続」 東京大学大学院工学系研究科修士課程 朱 鳳亭 「「廻廊仕様書」の解釈及び現存建築との比較」 東京大学大学院工学系研究科修士課程 小野 優華 「「禁裏廻廊木積」の積算方法の検討及び安政度禁裏廻廊の復元」 東京大学大学院工学系研究科修士課程 白 松楠 「安政度禁裏廻廊関係造営史料についての比較検討及びその位置づけ」 東京大学大学院工学系研究科修士課程 前田 瑠嘉	44人 小ホール

	「禁裏廻廊工割帳」に見る「工割帳」の解釈と検討」及び 「禁裏清涼殿并附物共工割帳」に見る安政度工割帳の作成」	
--	---	--

○ 陽明文庫講座

公益財団法人陽明文庫、東京大学史料編纂所との共同主催で実施している取組です。
今年度は府民向けの講座は行わず、所蔵史料の研究成果の速報的な性格をもつ『陽明文庫講座図録』の刊行のみ継続しました。西日本で唯一陽明文庫所蔵史料のデジタル画像を閲覧提供している当館からも職員が研究成果を報告しました。

タイトル・執筆者等（敬称略）	
陽明文庫講座 図録6	
○研究報告	
中西 大輔	「『予楽院雑記（家熙公雑記）正徳三年 関東御道之記』」
林 奈緒子	「陽明文庫本『勘例』と押小路本「除目雑例抄」」

○ 京都学ラウンジミニ講座

毎週木曜日、小ホールにて、当館職員等が講師を務めるミニ講座を開催しました。

年月日	内 容	講 師（敬称略）	参加者数
令和6年 4月4日、11日 18日、25日	京都府内の古代寺院について	副館長 森下 衛	316人
令和6年 5月9日、16日、 23日、30日	建築士試験にも出た京都の建築	京都学推進課 中西 大輔	132人
令和6年 6月6日、13日、 20日、27日	令和5年度京都府指定等文化財の紹介 ①鎌倉時代の生身（しょうじん）仏信仰と仏像—京都府新指定文化財 佛性寺阿弥陀如来立像を中心に— ②17世紀城陽の神社本殿—京都府新指定文化財 旦棕神社・天満神社— ③南山城の中世村落—京都府新指定文化財 岡田国神社文書をひも解く— ④令和5年度京都府指定文化財（絵画）—狩野探幽による酬恩庵方丈障壁画を中心に—	京都府文化財保護課 ①桑原 正明 ②山田 真美 ③稲穂 将士 ④長谷川 貴信	247人
令和6年 7月4日、11日、 18日、25日、 8月1日、8日	古代の納税／徴税システム	京都学推進課 今村 凌	336人
令和6年 8月22日、29日	京都府の文化財について	元京都府文化財保護課長 磯野 浩光	103人

令和6年 9月5日、12日、 19日、26日	京都府立大学 共催特別企画 ①人口減少社会におけるドローンの普及 に向けて：まいづる赤れんがオフィスの 取組 ②『好色一代男』と『京童』—タイムト リップきょうと「清水寺」より— ③京都の庭園 名勝円山公園と植治の庭 ④データサイエンスで紐解く京丹後の 海水浴場 	①京都府立大学公共 政策学部教授 窪田 好男 ②京都府立大学文学 部教授 藤原 英城 ③京都府立大学生命 環境科学研究科教授 福井 亘 ④京都府立大学生命 環境科学研究科准教 授 岩崎 雅史	282 人
令和6年 10月3日	横穴式石室考—葬送儀礼と被葬者像—	京都府埋蔵文化財調 査研究センター調査 課長 小池 寛	53 人
令和6年 10月10日、17日、 24日、31日	近世巨大都市京都の大工集団と都市社会	京都学推進課 田坪 賢人	276 人
令和6年 11月7日、14日、 21日、28日	植物園100周年記念の特別展示と新たな取 り組み ①開園100年の歩み展～時代を見てきた 資料～ ②開店！いもむしのレストラン～食草園 の新設～ ③恐竜時代の植物展～化石で知る植物の 進化史～ ④どんぐりの森「Dongreen Lab」のオー プン～こどもたちの未来を築く～	京都府立植物園 ①小川 久雄 ②山下 幸司 ③成栗 祥太 ④中井 貞	214 人
令和6年 12月5日	与等津と平安京—河港の位置と施設—	館長 金田 章裕	138 人
令和6年 12月12日、19日	奈良・平安時代の銭と山城国	京都学推進課 今村 凌	142 人
令和7年 1月16日、23日、 30日	知られざる戦前の名阪鉄道計画	資料課 若林 正博	310 人
令和7年 2月6日、13日、 20日、27日	政党政治家の光と影—水谷長三郎の支持 基盤形成—	京都学推進課 杉本 弘幸	175 人
令和7年 3月6日、13日、 27日	石清水放生会の歴史—中絶と再興—	京都学推進課 林 奈緒子	175 人

※12月5日開催分については大ホールで実施。

○ 日本名作映画上映会

府民の皆様だけでなく、日本在住・来日中の海外の方々にも日本映画を通して、京都や日本の歴史・文化に親しんでいただくため、国際交流基金京都支部と共催で英語字幕付の映画上映会を開催しました。

年月日	内 容	参加者数
令和6年8月21日(水)	英語字幕付『ミュージコフィリア』上映	196人 大ホール
令和6年12月18日(水)	英語字幕付『地獄門』上映	190人 大ホール

○ 資料に親しむ会

当館が所蔵する資料について、実際に資料を見ながら、当館職員が持つ知見をわかりやすく解説する講座を開催しました。

年月日	内 容・講師等（敬称略）	参加者数
令和6年4月17日(水)	納豆再考 資料課 安田 睦余	53人 小ホール
令和6年5月15日(水)	京都のお風呂 いま・むかし 資料課 中井 美優	57人 小ホール
令和6年6月11日(火)	描かれた嵐山 資料課 赤羽 莉奈	83人 小ホール
令和6年7月17日(水)	日露戦争と京都府 資料課 白川 哲夫	60人 小ホール
令和6年9月18日(水)	新版画の月と星 資料課 赤羽 莉奈	54人 小ホール
令和6年10月16日(水)	将棋の愛好者たち 資料課 藤原 直幸	36人 小ホール
令和6年11月20日(水)	旅と名所図会（江戸編） 資料課 若林 正博	70人 小ホール
令和7年1月15日(水)	江戸時代の陰陽師 資料課 山本 琢	100人 小ホール
令和7年2月19日(水)	京都と映画 資料課 坪倉 未佳	105人 小ホール
令和7年3月19日(水)	西山卯三と昭和の京都 資料課 松田 万智子	72人 小ホール

○ 寺子屋講座

小中学生を主な対象としたワークショップを開催しました。

年月日	内 容	参加者数
令和6年7月30日(火)	午前：江戸の算術《和算》を学ぼう！ 資料課 藤原 直幸 午後：歴彩館でボードゲームを楽しもう！ 資料課 藤原 直幸	午前：22人 午後：18人 小ホール

令和6年8月7日(水)	午前：歴彩館でボードゲームを楽しもう！ 資料課 藤原 直幸 午後：江戸の算術《和算》を学ぼう！ 資料課 藤原 直幸	午前：19人 午後：20人 小ホール
-------------	--	--------------------------

○ 館外での講座（当館職員）

年月日	演題・講師	会場等	参加者数
令和6年 6月24日(月)	幻の伏見区横断鉄道新京阪鉄道山科線 資料課 若林 正博	主催：公益財団法人京都SKYセンター 京都学・歴彩館	98 人
令和6年 6月27日(木)	私たちの町、伏見の歴史を知ろう 資料課 若林 正博	主催：京都市立桃陵中学校 京都市立桃陵中学校	113 人
令和6年 7月12日(金)	POP 作成講座 資料課 赤羽 莉奈 長元 美緒	主催：京都外国語大学 京都外国語大学	37 人
令和6年 7月13日(土)	伏見城&伏見櫓の実像に迫る 資料課 若林 正博	主催：ひろしま文化振興財団ほか 広島県民文化センターふくやま	113 人
令和6年 9月28日(土)	アーキビストと未来へ繋ぐ深草アーカイブ 資料課 若林 正博	主催：全史料協近畿部会ほか 龍谷大学深草キャンパス	70 人
令和6年 9月29日(日)	幻の舞鶴の路面電車計画 資料課 若林 正博	主催：舞鶴市西公民館ほか 舞鶴市西公民館	40 人
令和6年 10月19日(土)	明治天皇伏見桃山陵と献木 資料課 若林 正博	主催：京阪ホールディングス アートエリアBI	60 人
令和6年 11月17日(土)	「東寺百合文書」を翻刻する 資料課 小森 浩一	主催：京都府立京都学・歴彩館指定管理者「コングレ・日本管財・丸善雄松堂共同事業体」 京都府立京都学・歴彩館	63人
令和6年 11月23日(土)	平安時代のお金～山城国を中心に～ 京都学推進課 今村 凌	主催：イオン銀行 イオンモール京都桂川	50 人
令和6年 11月25日(月)	街道講演会「歴史講座京街道伏見宿と淀宿」の開催について 資料課 若林 正博	主催：あいちの歴史観光推進協議会 万松寺のぶながホール	90 人
令和7年 2月2日(日)	各地のお城を訪ねてみよう伏見城 資料課 若林 正博	主催：門真市立歴史資料館 門真市立図書館	27 人
令和7年 2月8日(土)	京都市文化財マネージャー育成講座 行政資料の基礎知識 資料課 若林 正博	主催：京都市文化財マネージャー育成実行委員会 景観まちづくりセンター	30 人

令和7年 2月25日(火)	巨椋池の名残を探る 資料課 若林 正博	主催：宇治市歴史資料館 宇治市中央公民館	80 人
令和7年 2月26日(水)	ユネスコ「世界の記憶」に関する研 修会 資料課 小森 浩一	主催：文部科学省 日本ユネスコ国内委員会 事務局	70人 (オンライン 参加含む)
令和7年 3月2日(日)	新・京都学講座「史料×科学でひも 解く！京丹波の曾根隕石」 資料課 赤羽 莉奈	主催：歴彩館指定管理者 コングレ・日本管財・丸 善雄松堂共同企業体 京都学・歴彩館大ホール	139 人
令和7年 3月16日(日)	伏見航路観光船クルーズ&伏見歴史 散策 資料課 若林 正博	主催：国土交通省近畿運 輸局ほか 伏見区内フィールドワーク	10 人

◆ 資料紹介コーナー

当館主催の展覧会や講演会等に関連する所蔵資料を紹介するコーナーを設け、展覧会や講演会への興味を持ってもらい、また、理解を深めていただきました。

期 間	資料紹介コーナー名	関連事業	リスト 配布数
令和6年4月11日(木) ～6月11日(火)	時代を駆けた陶芸家たち	当館展覧会	196
令和6年5月9日(木) ～7月9日(火)	京都をつなぐ海と鉄道	指定管理者主催事業、当館主催パネル 展示	460
令和6年6月13日(木) ～7月9日(火)	丹後に息づく庭園と古墳	当館主催講座	400
令和6年6月13日(木) ～8月3日(火)	奇奇怪怪 こわ～い本	指定管理者主催事業	550
令和6年6月13日(木) ～7月9日(火)	若林正博の鉄道・伏見学	京都SKY大学	100
令和6年7月1日(月) ～9月30日(月)	奥深い食文化の魅力に迫る	府大図書館連携	190
令和6年7月11日(木) ～8月13日(火)	寺子屋講座を深掘り！～ボードゲ ーム・和算編～	当館主催講座	109
令和6年7月11日(木) ～9月10日(火)	祇園祭と日本の祭り	—	120
令和6年8月15日(水) ～10月8日(火)	室戸台風から90年 災害の記録と 防災	—	230
令和6年8月15日(木) ～10月8日(火)	京都建築探訪	指定管理者主催事業	570
令和6年9月12日(木) ～11月12日(火)	印象派150年 展覧会図録の世界	当館主催講座	200
令和6年10月1日(火) ～12月17日(火)	京都府立植物園開園100周年記念 本でふれるボタニカル	府大図書館連携	515

令和6年10月10日(木) ～12月10日(火)	あこがれの書店・古書店	指定管理者主催事業	1100
令和6年11月14日(木) ～12月17日(火)	とっておきの京都さんぽ	—	250
令和7年1月6日(月) ～3月11日(火)	江戸のくらしと文化	—	380
令和7年1月6日(月) ～3月11日(火)	天文学への誘い	指定管理者主催事業、当館主催講座、当館主催パネル展示	790
令和7年3月13日(木) ～6月10日(火)	2025年大阪・関西万博記念 博覧会ヒストリー	当館展覧会	—
令和7年3月13日(木) ～5月13日(火)	ラジオ放送100周年 うつりゆくマスメディア～歴彩館の所蔵資料から～	—	—

◆ SNS

館のイベント情報、休館日や開館時間、京の記憶アーカイブの更新情報（お知らせ、資料ガイド等）、資料紹介や調査（レファレンス）事例、北山エリアの話題等を広く発信するため、平成31年4月22日からX(旧Twitter)とFacebookを始めました。本年度は236件発信しました。

○#京都あれこれ

ハッシュタグに「京都あれこれ」を付して投稿し、当館が所蔵する資料を紹介しました。本年度は『都踊』や『追儼方相氏圖』などを取り上げ、合計 33 回投稿しました。

◆ 「京都学・歴彩館紀要」第8号（令和7年3月発行）

- ・ 京都学・歴彩館の特色ある京都の文化全般の研究推進と、国内外への成果発信にするものとして、京都学・歴彩館職員や京都学・歴彩館が受け入れた京都学研究員等による論文・研究ノートや資料紹介を掲載。
- ・ 第8号は、論文5件、資料紹介2件、実績レポート1件、事業報告3件を掲載。

5 大・小ホール、学習室について

ア 大・小ホール

大ホールの利用人数は24,598人、小ホールの利用人数は13,023人でした。

イ 学習室について

座席数は86席で、平日は9時～20時45分、土日は9時～16時45分で開室しました。

年月	開館日数	学習室	大ホール	小ホール
令和6年4月	28日	3,851人	2,433人	656人
5月	26日	5,130人	1,201人	1,286人
6月	29日	6,234人	2,056人	1,191人
7月	29日	5,252人	2,874人	1,289人
8月	28日	5,327人	1,430人	860人
9月	26日	4,835人	4,093人	1,506人
10月	29日	5,172人	3,519人	1,221人
11月	26日	5,280人	1,649人	1,438人
12月	26日	3,989人	1,744人	808人
令和7年1月	25日	3,714人	1,446人	818人
2月	24日	4,815人	1,148人	831人
3月	29日	4,043人	1,005人	1,119人
計	325日	57,642人	24,598人	13,023人

6 京都資料総合閲覧室の利用状況

京都に関する専門的な調査研究のための閲覧室（207席）で、開架図書約2万冊を自由に利用できるほか、書庫内の図書資料、古文書、行政文書などが利用できます。

（１） 京都資料総合閲覧室の利用状況

ア 出納の状況

年月	開 室 日 数	出納の状況											
		図書 (書庫資料)		古文書		行政文書		写真 資料		近代文学 資料		合計	
		件数	冊数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点(冊)数
6年 4月	28	579	3,194	27	157	49	329	0	0	2	16	657	3,696
5月	26	605	3,303	39	307	60	326	0	0	4	46	708	3,982
6月	29	629	2,811	30	151	60	416	0	0	3	43	722	3,421
7月	29	654	3,683	30	218	67	390	0	0	4	58	755	4,349
8月	28	554	2,893	27	397	46	444	0	0	2	38	629	3,772
9月	26	541	3,218	38	419	49	220	0	0	0	0	628	3,857
10月	29	675	3,278	41	468	56	305	0	0	1	22	773	4,073
11月	26	660	3,380	42	280	61	287	0	0	5	144	768	4,091
12月	16	423	1,998	32	808	39	317	1	229	0	0	495	3,352
7年 1月	24	618	3,255	29	384	45	217	0	0	3	65	695	3,921
2月	24	554	3,504	18	144	40	273	0	0	3	42	615	3,963
3月	29	521	2,505	31	337	32	162	0	0	3	51	587	3,055
合計 (1日あたり)	314	7,013 (22.3)	37,022 (117.9)	384 (1.2)	4,070 (13.0)	604 (1.9)	3,686 (11.7)	1 (0)	229 (0.7)	30 (0.1)	525 (1.7)	8,032 (25.6)	45,532 (145.0)

イ 利用者数

年月	開室日数	利用者数	1日あたり（人）
6年4月	28	11,064	395
5月	26	11,482	442
6月	29	11,935	412
7月	29	16,648	574
8月	28	9,226	330
9月	26	6,867	264
10月	29	12,519	432
11月	26	10,797	415
12月	16	6,845	428
7年1月	24	11,272	470
2月	24	7,363	307
3月	29	6,620	228
合計	314	122,638	391

（２）資料に関する相談状況

所蔵資料の有効な利用を図るため、資料の利用案内や調査・研究の支援等の相談業務を実施しています。京都資料総合閲覧室カウンターでの相談のほか、電話・文書等による相談にも応じています。

ア 月別相談件数

年月	口頭	電話	文書	合計
6年4月	533	102	83	718
5月	549	96	81	726
6月	517	129	72	718
7月	551	154	69	774
8月	412	95	60	567
9月	456	110	90	656
10月	583	130	106	819
11月	587	115	103	805
12月	345	93	66	504
7年1月	516	138	82	736
2月	447	131	60	638
3月	419	162	74	655
合計	5,915	1,455	946※	8,316

※うち電子メール941件

イ 相談内容別の状況

	口頭	電話	文書	計
館利用案内	2,280	503	500	3,283
複写依頼	1,581	138	113	1,832
特定図書の所蔵調査	1,245	464	84	1,793

図書に関する書誌的調査	41	15	6	62
人名・地名等の読み方調査	10	0	35	45
人物・団体調査	118	44	67	229
内容調査	274	95	104	473
その他	366	196	37	599
計	5,915	1,455	946	8,316

ウ 相談事例

○蝶々踊りについて知りたい。

【回答】

「蝶々踊り」とは、天保の飢饉が収束を見せた天保 10（1939）年の京都で、町衆が仮装して昼夜問わず町を練り歩いた踊りを指す。「チョイチョイ踊り」、「豊年踊り」ともいう。

『若冲と京（みやこ）の美術：京都細見コレクションの精華』pp. 50-51 に図版「ちょうちょう踊り図屏風」、p. 156 に作品解説が掲載されている。

『伊藤若冲と京（みやこ）の美術：京都細見美術館：細見コレクションの精華』pp. 50-53 に図版「ちょうちょう踊り図屏風」、pp. 156-157 に作品解説が掲載されている。

『行列にみる近世：武士と異国と祭礼と：企画展示』pp. 166-169「仮装行列」の項目に、蝶々踊り図や蝶々踊り絵巻の図版が掲載されており、p. 204 にも解説「描かれた蝶々踊り」がある。

○江戸時代末期の京都の種痘所「有信堂」について、所在地を知りたい。

【回答】

医学関係や幕末関係の資料を調査した結果、「有信堂」の所在地は複数回移転していることがわかった。

『京都の医学史』pp. 924-927「種痘所 有信堂」「熊谷鳩居堂と種痘」で、所在地について、嘉永 2 年 10 月創業時は【御幸町通姉小路上ル】、のちに【柳馬場通御池】に移転し、再び【御幸町通姉小路】に移転したと記載されている。p. 638 には、鳩居堂の熊谷蓮心が私費で【四条坊東洞院街西】に種痘所をつくったことが書かれている。なお、明治初年には【東洞院通姉小路上ル町】に種痘所があったとしている。

『京都の医学史、資料篇』p. 436 の年表に「嘉永 2（1849）年 10 月 【東洞院姉小路上ル】に種痘所有信社を興す」とある。

『京の医史跡探訪、増補版』pp. 251-252「種痘所有信堂と熊谷蓮心」という項目があり、【中京区御幸町姉小路上ル】【上京区富小路御池上ル】が史跡となっている。本文では、嘉永 2（1849）年 10 月、【御幸町姉小路上ル】に有信堂を開設したことや、一時【富小路御池上ル】に移転したが、ここに上京第二十七番組（柳池）小学校が運営されたため、再び元の場所に戻ったことなどが書かれている。

『鉾町周辺、1：中京区（京都市町名変遷史；5）』pp. 326-328 に熊谷直恭は【御幸町姉小路上ル】の持ち家を有信堂と名付けたという記述がある。明治時代、熊谷直孝が上京二七組に有信堂の教室を提供した際、有信堂の所在地は【東洞院姉小路上ル東側】にあったが、のちに【富小路御池角】に移転したと書かれている。

『中京区（史料京都の歴史；9）』p. 168 に「熊谷家文書嘉永 2 年 10 月」を出典として、「熊谷直恭が御幸町姉小路上ルを種痘所有信堂とする」とある。p169 では『京都小学校三

十年史』を出典として、【東洞院姉小路上ル所】に種痘館有信堂を設けた記録がある。

『維新の激動（京都の歴史：7）』pp. 499-500 には、【四条坊東洞西入ル】にあった有信堂で京都における種痘が始められたこと、元治の兵火（禁門の変に伴う火災）の後に再建され、明治時代に京都府の認可を受けて「有信堂」として世に知られていたことが書かれている。

『京都府立医科大学八十年史：1872-1952』p. 11「種痘館の医師達」の中で、嘉永 2（1849）年 11 月に四条坊東洞院街西に種痘所を設置して有信堂と称したこと、その後三回移転し、元治元年（1864）春に東洞院御池街南に移転したことが書かれている。

○かつて京都市東山区にあった雲居寺の歴史を知りたい。

【回答】

地名辞典や寺院辞典などを調査した。雲居寺は現在の高台寺がある場所に立地していたため、高台寺に関係する資料も確認した。

次の資料に雲居寺の沿革や大仏について記載があった。

『京都市の地名（日本歴史地名大系：27）』p. 211 では、『拾芥抄』、『京都府地誌』、『坊目誌』、『京羽二重織留』、『続日本後紀』、『扶桑略記』、『中右記』、『百鍊抄』などの文献に現れる雲居寺に関する記述を紹介している。

『京都・山城寺院神社大事典』pp. 108-109、『昭和京都名所圖會，1 洛東 上』pp. 192-194 にも記述がある。

川勝政太郎「洛東雲居寺と瞻西聖人」（『史迹と美術』21 巻 6 号（214 号）、1951. 8、pp. 219-226）p. 224 には室町時代に描かれたという「八坂法観寺古図」の部分図が掲載されている。

今津紹柱「東山雲居寺考」（『禅宗』16 巻 4 号（169 号）、1909. 4、pp. 61-70）は雲居寺の創立や位置、大仏について詳しい。

谷信一「雲居寺大像造像次第 —佛師の問題として—」（『宝雲』第 9 冊（第 3 年第 1 冊）、1934. 3、pp. 65-83）では、雲居寺には坐高四丈（約 12. 1m）の阿弥陀大像があったことが説明されている。

次に雲居寺の発掘成果については、『京都市内遺跡試掘調査報告，平成 29 年度』pp. 33-35 で、調査地から平安時代後期の土器・瓦などを発掘し、雲居寺の存在を裏付けるものであるとしている。

『史跡・名勝高台寺庭園（京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告：2018-7）』p. 13、21 では、高台寺創建以前の時代の出土品があり、この地に雲居寺があった可能性について言及している。

『財団法人京都市埋蔵文化財研究所年報，平成 17 年度』pp. 50-53 によると、鎌倉、室町時代の土器が出土しており、この地に雲居寺があったことを示すとしている。

○江戸時代の京都における桜や花見の様子が描かれている資料はあるか。

【回答】

江戸時代に刊行された名所図会の挿絵を案内した。

『都名所図会』

祇園の花見

[http://www.archives.kyoto.jp/websearchpe/mediaDetail?cls=152_old_books_catalog
&pkey=0000000224&ICls=150_media_old_books&IPkey=0000070685](http://www.archives.kyoto.jp/websearchpe/mediaDetail?cls=152_old_books_catalog&pkey=0000000224&ICls=150_media_old_books&IPkey=0000070685)

嵐山の花見

http://www.archives.kyoto.jp/websearchpe/mediaDetail?cls=152_old_books_catalog&pkey=0000000224&ICls=150_media_old_books&IPkey=0000070764

花の寺

http://www.archives.kyoto.jp/websearchpe/mediaDetail?cls=152_old_books_catalog&pkey=0000000224&ICls=150_media_old_books&IPkey=0000070779

『拾遺都名所図会』

醍醐花見

http://www.archives.kyoto.jp/websearchpe/mediaDetail?cls=152_old_books_catalog&pkey=0000000226&ICls=150_media_old_books&IPkey=0000064389

御室花見

http://www.archives.kyoto.jp/websearchpe/mediaDetail?cls=152_old_books_catalog&pkey=0000000226&ICls=150_media_old_books&IPkey=0000064489

『東山名勝図会』

祇園林夜桜

http://www.archives.kyoto.jp/websearchpe/mediaDetail?cls=152_old_books_catalog&pkey=0000001348&ICls=150_media_old_books&IPkey=0000230012

○17 世紀の山城国（現在の京都府京都市）の絵図はあるか。

【回答】

現在の京都市域にあたる地域の 17 世紀の絵図は、当館で以下の資料を所蔵しており、全てデジタルアーカイブで公開している。

『[京繪圖]』（刊記に貞享 3（1686）年とあり）。

http://www.archives.kyoto.jp/websearchpe/detail?cls=152_old_books_catalog&pkey=0000002068

『[京繪圖]』（朱書に元禄元（1688）年～元禄 3（1690）年刊とあり）。

http://www.archives.kyoto.jp/websearchpe/detail?cls=152_old_books_catalog&pkey=0000000063

『[京繪圖]』（刊記に元禄 4（1691）年とあり）。

http://www.archives.kyoto.jp/websearchpe/detail?cls=152_old_books_catalog&pkey=0000000064

『[京繪圖]』（刊記に元禄九（1696）年とあり）。

http://www.archives.kyoto.jp/websearchpe/detail?cls=152_old_books_catalog&pkey=0000002069

『新板平安城東西南北町并洛外之圖』（寛文 2（1662）年）。

http://www.archives.kyoto.jp/websearchpe/detail?cls=152_old_books_catalog&pkey=0000000240

『新板平安城并洛外之圖』（延宝 6（1678）年）。

http://www.archives.kyoto.jp/websearchpe/detail?cls=152_old_books_catalog&pkey=0000002190

○紫野（京都市北区）の地名の由来が「村崎野」とであると書かれている資料はあるか。

【回答】

紫野（むらさきの）は京都市北区の船岡山や大徳寺一帯の地域を指す。「村崎野」に係する資料は以下の通り。

『紫野学区：歩く喜びまちさんぽ』p.2に「紫野という地名は、船岡山の北の谷をこえて、宮城の先にあるため、ムラサキノ（村崎野）からきているとも考えられている」とある。

『京都の地名を歩く』pp.40-42に「紫野は、（中略）語源的には、ムラ（村）のサキ（先方）で、宇太村の先端地域という意味である」とある。

『京都地名語源辞典』p.564に記載あり。「野」は元は非耕作地の禁野を意味し、禁猟区が村のサキ（先）にあったことから「ムラサキ（村前）の」を意味したことが書かれている。

○物集女街道の起点と終点が知りたい。地図もあわせて確認したい。

【回答】

物集女街道は西国街道から分岐して京都市西部を北上する街道である。

『京都府の地名』p.308「物集女村」に「寺戸村で西国街道から分れ、檜原で山陰街道に結ぶ街道は物集女街道とよばれ、村内を縦貫する。」とある。

『乙訓の西国街道と向日町』p.44「愛宕道（物集女街道）」に、「長野山見分絵図」（明和8（1771）年）があり、物集女街道が愛宕道として描かれている。これは、江戸時代の道は行き先の名前で呼ばれていたため。巻末に「乙訓付近の街道」地図があり、物集女街道も載っている。しかし、地図の北は松尾大社周辺までで、起点は寺戸村周辺と分かるが終点は不明。

『京の古道を歩く』p.278「物集女街道」の項目に詳しい記述あり。『五畿内志』に「愛宕路」として記載があることや、物集女街道は西国街道と分岐して北上し檜原で山陰道と交差、嵐山に至り愛宕街道に連結することが書かれている。p.283には物集女街道の地図があるが、北は渡月橋までしか描かれていない。

以上のことから物集女街道の起点（西国街道との分岐点）は寺戸村（現在の向日市寺戸町）であることが分かり、物集女街道の終点は愛宕周辺、あるいは愛宕街道の起点であると推測できる。

* 当館では、回答した事例の中からピックアップし、国立国会図書館が運営するレファレンス協同データベース（<https://ord.ndl.go.jp/reference/>）に登録しています。当館で受け付けた相談事例の詳細は、上記より御覧いただけます。レファレンス事例の詳細検索画面から、検索項目：提供館名「京都府立京都学・歴彩館」で検索してください。

本年もこのデータベースに多くの事例を登録したことにより、昨年に引き続き国立国会図書館長より御礼状の交付を受けました。

エ 古文書相談

古文書相談は、古文書の解読、整理・保存等についての相談対応するものです。

カウンターで随時対応したほか、手紙・メール等で寄せられた相談に対応しました。

オ 国会図書館デジタル化資料送信サービスの実施

平成27年11月12日から、国立国会図書館の提供するデジタル化資料送信サービスを開始しました。

利用申込件数	65
複写申込件数	45
複写枚数	395

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、調査研究のため特に必要な場合、特別観覧に供しています。詳細は次のとおりです。

番号	申請者の区分	資料区分	資料名	点数
1	個人	日本画	田能村直入「墨梅図」ほか	6
2	個人	日本画	今尾景年「写生帳」	1
3	個人	日本画	「承安五節絵巻模本」無番1巻	1
合計				3件 8点

7 館蔵資料等の撮影と複写

(1) 使用及び利用

館蔵資料等を調査研究、出版等に使用するため、撮影等を行う場合の使用申請と、出版物等への掲載等を行う場合の利用届があったのは次のとおりでした。

資料種別		使用		利用	
		件数	冊(点)数	件数	冊(点)数
図書資料		17	141	29	75
	図書・雑誌	9	17	24	64
	古典籍	8	124	5	11
文書資料		10	261	62	218
	古文書	9	32	26	90
	行政文書	0	0	34	109
	写真資料	1	229	0	8
	近代文学資料	0	0	2	11
管理委託現物資料		13	17	13	17
合 計		40	419	104	310

(2) 行政文書の自写(許可を得て利用者自身が撮影)の状況

1,196点 30,945枚

(3) 複写状況 (R6.4.1~R7.3.31)

複写種別		合計	
		件数	枚数
電子式複写	白黒	6,651	113,729
	カラー		5,993
(撮影)※			(10,103)
画像プリント			1,345
マイクロリーダープリンター			3,680
国会図書館デジタル送信 資料用端末による印刷	白黒		290
	カラー		3

京の記憶アーカイブ及び 館内閲覧端末での印刷	白黒		205
	カラー		17
合 計		6,651	125,262

※撮影は、複写枚数に含まない。

8 資料の貸与

本年度は、次のとおり、合計 22件、119点の貸与を行いました。

(1) 図書資料

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	北海道立近代美術館 「国宝『鳥獣戯画』北海道初公開 京都 高山寺展—明恵上人 と文化財の伝承」	遺香庵寄進顛末	1

(2) 古典籍

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	茶道資料館 令和6年春季特別展「裏千家今日庵の茶室 寒雲亭ものがたり」	平安人物志	1
2	京都文化博物館 特別展「松尾大社展 みやこの西の守護神(まもりがみ)」	玉海ほか	2
3	京都文化博物館 総合展示「天平の都 恭仁宮 最新の発掘調査成果から」	萬葉集ほか	4
4	京都文化博物館 総合展示「祇園祭—山鉾巡行の歴史と文化—」	祇園御本地ほか	6
5	彦根城博物館 企画展「青根九江—京で花開いた彦根の文人画家—」	平安人物志	1
6	鳥取市歴史博物館 令和6年度特別展「松尾大社～みやこの西の守護神(まもりがみ)～」	洛外社寺絵巻	1
7	京都文化博物館 2024年度総合展示「足利将軍、京都に住まう。」	空華老師日用工夫略集ほか	4
8	おおい町立郷土史料館 令和6年度特別展「陰陽師とは何者か～安倍晴明のものがたり～」	暦林問答集	1
9	北九州市立自然史・歴史博物館 秋の特別展「お菓子のむかしばなし展」	集古圖ほか	2
10	高知県立美術館 3館連携企画「生誕200年 河田小龍—激動期への眼差し」	琵琶湖疏水圖誌 ほか	5
11	大山崎町歴史資料館 第32回企画展「宝積寺1300年—その信仰のかたち—」	時慶卿記	1
12	京都市歴史資料館 特別展「二条離宮—元離宮二条城 本丸御殿公開記念—」	塵海	2
13	亀岡市文化資料館 第74回企画展「丹波路の車窓から—老ノ坂と保津峡の近代—」	日出新聞	3
14	南丹市立文化博物館 令和6年度冬季企画展「文字権左衛門と丹波志」	丹波志ほか	9

(3) 古文書

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	奈良国立博物館 生誕1250年記念特別展「空海 KUKAI ―密教のルーツとマンダラ世界」	東寺百合文書	2
2	京都文化博物館 令和6年度特別展「松尾大社 みやこの西の守護神(まもりがみ)」	東寺百合文書	2
3	鳥取市歴史博物館 令和6年度特別展「松尾大社～みやこの西の守護神(まもりがみ)～」	東寺百合文書	5
4	京都文化博物館 2024年度総合展示「足利将軍、京都に住まう。」	東寺百合文書 ほか	22
5	京都大学総合博物館 2024年度企画展「宇宙からの手紙 隕石の発見からはやぶさ2の探査まで」	高木ヒロ家文書、人のうわさ	3
6	神奈川県立金沢文庫 令和6年度特別展「久米田寺」	東寺百合文書	2
7	福井県立若狭歴史博物館 令和6年度特別展「陰陽師とは何者か」	大國家文書、 若杉家文書	17
8	おおい町立郷土史料館 令和6年度特別展「陰陽師とは何者か～安倍晴明のものがたり～」	若杉家文書	1
9	高知県立坂本龍馬記念館 令和6年度企画展「天誅 ―土佐藩の奔走―」	人のうわさほか	5
10	亀岡市文化資料館 第74回企画展「丹波路の車窓から ―老ノ坂と保津峡の近代―」	上野家文書	3
11	南丹市立文化博物館 令和6年度冬季企画展「文字権左衛門と丹波志」	平和家文書ほか	3

(4) 行政文書

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	大谷大学博物館 特別展示「美と用の煌めき―東本願寺旧蔵とゆかりの品々―」	京都府庁史料 大谷派本願寺什 宝目録〔写〕	1

(5) 近代文学資料

	貸与先及び展覧会の名称	資料名	点数
1	福井市 令和6年度福井市橘曙覧記念文学館特別展「源氏物語を愛して―現代語訳に挑んだ作家たち」	天眠文庫資料	10

(6) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、合計15件(39点)の貸与を行いました。

貸与先等は次のとおりです。

	貸与先	展覧会等の名称	部門	資料名	点数
1	内閣府迎賓館京都事務所	京都迎賓館における貴賓の接遇のため	日本画	野々内良樹「緑映」	1
2	彦根城博物館	展覧会「青江九江-京で花開いた彦根の文人画家」	日本画	「天籟画帖」	1
3	京都府文化芸術課	府民ギャラリー事業二役室展示	日本画	池内璋美「美山」ほか	6
4	京都市京セラ美術館	展覧会「生誕120年 没後50年奥村厚一 光の風景画家」	日本画	奥村厚一「奈具海岸」	1
5	京都府文化芸術課	府民ギャラリー事業二役室展示	日本画	松崎良太「秋陽撫山の里」ほか	5
			洋画	上田祐司「秋の妙法」	1
6	北九州市立自然史・歴史博物館	展覧会「お菓子のむかしばなし展」	日本画	「七十一番職人づくり歌合絵巻」ほか	2
7	高知県立美術館	展覧会「生誕200年記念 河田小龍」	日本画	三島上龍「納涼美人」	1
8	笠岡市立竹喬美術館	展覧会「日本画家 入江西一郎のどうぶつ画」	日本画	入江西一郎「都をどり」ほか	2
9	奈良県立美術館	展覧会「ヤマトの美」	日本画	原在明「新嘗」	1
10	京都府文化芸術課	府民ギャラリー事業二役室展示	日本画	由里本出「丹後松島冬韻」(こころの京都)ほか	6
11	京都府文化芸術課	京都府民ホールA L T I リニューアルオープン記念公演	染織	「羽衣」能装束(復元)	1
12	内閣府迎賓館京都事務所	京都迎賓館における貴賓の接遇のため	日本画	曲子光男「紅梅」	1
13	松柏美術館	展覧会「上村三代の恩師たち」	日本画	鈴木松年「八岐大蛇退治図」ほか	3
14	京都府文化芸術課	府民ギャラリー事業二役室展示	日本画	松本祐子「千年の春」(こころの京都)ほか	6
15	清水信行	個展「京都の日本画家 清水信行展」	日本画	清水信行「古都清信」(こころの京都)	1
合計					15件 39点

9 図書館間相互貸出

(1) 府内公共図書館等

平成4年7月に開始した府内の公共図書館等との図書の相互貸借については、18館、50冊の貸出し、8館、13冊の借受けを行いました。明細は次のとおりです。

貸借先館名	貸出冊数	借受冊数	貸借先館名	貸出冊数	借受冊数
京都府立図書館	15	2	木津川市立中央図書館	1	-
京都市中央図書館	4	-	南丹市立中央図書館	-	2
京都市左京図書館	2	-	京丹波町図書館中央館	1	1
京都市下京図書館	1	-	福知山市立図書館中央館	1	2
京都市久我のもり図書館	3	-	京丹後市立峰山図書館	3	1
長岡京市立図書館	2	-	京丹後市立図書館丹後図書室	3	-
宇治市中央図書館	1	-	京丹後市立図書館久美浜図書室	-	2
城陽市立図書館	5	2	佛教大学附属図書館	1	-
八幡市立八幡市民図書館	2	-	京都橘大学図書館	2	-
			京都精華大学情報館	2	-
			花園大学情報センター（図書館）	-	1
			計	50	13

(2) 国立国会図書館等

昭和61年7月から国立国会図書館所蔵図書の借受け・閲覧サービスを行っていますが、令和6年度の借受利用はありませんでした。

10 共催事業等

○ 日本文化史研究1・2

京都府立大学文学部歴史学科の授業「日本文化史研究1・2」を当館にて実施しました。当館の所蔵資料を使ってグループ毎に設定したテーマで調査研究を行い、その成果発表の展覧会「府大生∞歴史館 コラボで探る京都学」を当館の展示室で開催しました。

（授業期間：令和6年度前期（15回）・後期（12回）、受講者：17人、展覧会会期：令和6年12月14日（土）～令和7年1月7日（火））

○ 資料で親しむ京都学

京都府立大学、京都府立医科大学及び京都工芸繊維大学が設置する京都三大学教養教育研究・推進機構と連携した科目「資料で親しむ京都学（リベラルアーツ・ゼミナール）」を開講しました。当館が所蔵する資料の価値や、利用・調査方法を講義しました。（期間：令和6年度後期（15回）、受講者：7人）

○ 講座・シンポジウム等

当館を会場に次の共催事業を開催しました。

事業名	年月日	主催・共催者	参加者数
公益財団法人古代学協会 2024年度連続講座「紫式部の 生きた王朝社会」第1回 「女房装束と出衣」	令和6年6月1日(土)	公益財団法人古代学協会	81人 小ホール
公益財団法人古代学協会 2024年度連続講座「紫式部の 生きた王朝社会」第2回 「道長と紫式部—平安京」	令和6年7月6日(土)	公益財団法人古代学協会	90人 小ホール
公益財団法人古代学協会 2024年度連続講座「紫式部の 生きた王朝社会」第3回 「天皇の寵愛争い—後宮の 世界」	令和6年9月14日(土)	公益財団法人古代学協会	86人 小ホール
公益財団法人古代学協会 2024年度公開講演会「紫式 部と『源氏物語』」	令和6年9月21日(土)	公益財団法人古代学協会	300人 大ホール
第1回地域交流フォーラム	令和6年9月26日(木)	京都府立大学京都地域未 来創造センター	30人 小ホール 60人 京都学ラ ウンジ
公益財団法人古代学協会 2024年度連続講座「紫式部の 生きた王朝社会」第4回 「『源氏物語』と色」	令和6年9月29日(日)	公益財団法人古代学協会	65人 小ホール
国際京都学シンポジウム 「幕末・明治時代の京都で 活躍した櫻洲山人とその国 際的な仲間たち 第五代京 都府知事中井弘没後130年 記念講演」	令和6年9月29日(日)	京都府立大学文学部	200人 大ホール
公益財団法人古代学協会 2024年度連続講座「紫式部の 生きた王朝社会」第5回 「『源氏物語』と香り」	令和6年10月30日(水)	公益財団法人古代学協会	66人 小ホール
公益財団法人古代学協会 2024年度連続講座「紫式部の 生きた王朝社会」第6回 「『源氏物語』の恋と与謝 野晶子」	令和6年11月16日(土)	公益財団法人古代学協会	76人 小ホール

公益財団法人古代学協会 2024年度連続講座「紫式部の 生きた王朝社会」第7回 「王朝貴族の装い」	令和6年11月29日(金)	公益財団法人古代学協会	61人 小ホール
シンポジウム「京都大工頭 中井家と江戸幕府・朝廷」	令和6年12月7日(土)	京都府立大学文学部歴史 学科	60人 小ホール
公益財団法人京都古文化保 存協会シンポジウム「京の 宝 未来へー文化財と防災 ー」	令和7年3月9日(日)	公益財団法人京都古文化 保存協会	175人 大ホール

○ 指定管理者(コングレ・日本管財・丸善雄松堂共同事業体)主催事業(当館共催)

事業名	年月日	参加者数
歴彩館こどもカレッジ朗読教室「声に出して お話を読んでみよう！」	令和6年4月14日(日)	21人 大ホール
はじめてのコンポスト講座&植物園春散歩	令和6年5月12日(日)	31人 小ホール、植物園
歴彩館こどもカレッジ「みんぷら運転会 in京 都～海と鉄道～」	令和6年5月25日(土)、 26日(日)	715人 小ホール
マザーズジョブカフェコラボセミナー「印象 アップ!メイク講座」	令和6年6月14日(金)	51人 小ホール
歴彩館こどもカレッジ いきもの教室「京都 のいきもの大図鑑！」	令和6年7月28日(日)	56人 大ホール
歴彩館こどもカレッジ「かつらふくまるの親 子落語劇場」	令和5年8月4日(日)	142人 大ホール
新・京都学講座「建築探偵 円満字洋介の京 都建築遺産」	令和6年8月25日(日)	228人 大ホール
北山あおいフェスティバル	令和6年9月29日(日)	北山エリア
下鴨中通ブックフェア 2024	令和6年10月12日(土)、 13日(日)	3,256人
講演会「東寺百合文書の翻刻事業」	令和6年11月17日(日)	63人 小ホール
JPカレッジ出張セミナー「きちんと伝える！ 自分も相手も大切に作るアサーティブコミュ ニケーション」	令和6年12月10日(火)	44人 小ホール
新・京都学講座「復元音で味わう『源氏物 語』」	令和6年12月15日(日)	153人 大ホール
歴彩館こどもカレッジ 書初め教室「手ぶら で書初めをしてみよう！」	令和7年1月5日(日)	34人 小ホール
歴彩館こどもカレッジ「漢字ミュージアムコ ラボ 新春・手ぶらで書初め教室」	令和6年1月7日(日)	58人 小ホール

北山彩論 vol.2「京額“きょう”の暮らしをふちどる」	令和7年1月25日(土)	74人 小ホール
新・京都学講座「史料と科学でひも解く！曾根隕石」	令和7年3月2日(日)	139人 大ホール
歴彩館こどもカレッジ 光る影絵劇場「どうぶつウキウキうんどうかい」	令和7年3月30日(日)	382人 大ホール
北山あおいフェスティバル	令和7年3月30日(日)	北山エリア

○ 新聞連載

「京都新聞」（毎月第四日曜日朝刊、京都総合面。第1回のみ第三日曜日）に、江戸初期に発行された京都で最初の名所案内記「京童」を基に、現代の京都を代表する名所がかつてどのように描かれたのかを探り、現代の風景と比較するコラム「タイムトリップきょうと～「京童」より」を連載。（府立大学教員と共同執筆）

	日付	取り上げた名所	執筆者
1	令和6年4月21日	清水寺（京都市東山区）	京都府立大学教授 藤原 英城
2	令和6年5月26日	藤森神社（京都市伏見区）	京都府立大学准教授 竹島 一希
3	令和6年6月23日	貴船神社（京都市左京区）	資料課 長元 美緒
4	令和6年7月28日	下鴨神社（京都市左京区）	資料課 吉田 奈央
5	令和6年8月25日	因幡堂（平等寺）（京都市下京区）	京都府立大学准教授 市村 太郎
6	令和6年9月22日	東寺（京都市南区）	京都府立大学講師 吉岡 真由美
7	令和6年10月27日	小倉山（京都市右京区）	資料課 中井 美優
8	令和6年11月24日	僧正谷（京都市左京区）	資料課 安田 睦余
9	令和6年12月22日	島原（京都市下京区）	京都府立大学教授 林 香奈
10	令和7年1月26日	神泉苑（京都市中京区）	資料課 赤羽 莉奈
11	令和7年2月23日	北野天満宮（京都市上京区）	京都府立大学教授 仁木 夏実
12	令和7年3月23日	清凉寺（京都市右京区）	京都府立大学教授 本井 牧子

1 1 資料の収集・整理・保存

当館では、京都に関する資料等を総合的に収集・整理・保存していますが、資料の種類と内容は次のとおりです。

・ 図書資料

図書、逐次刊行物、パンフレット等の印刷物(写本、原稿、書簡、写真、マイクロフィルム等を含む。)及びこれに準ずる資料

・ 古文書

・ 行政文書

・ 写真資料

・ 近代文学資料

・ 管理委託現物資料

(1) 図書資料

本年度に収集した資料冊数は、次のとおりです。

区分		購入（冊）	寄贈（冊）	取得等（冊）	計（冊）
京都資料		420	906	270	1,596
京都に関連するその他の資料 （歴史、美術、宗教等）		208	446	47	701
官庁資料	京都関係	75	330	374	779
	国・他府県	93	88	5	186
西山文庫資料		0	19,143	0	19,143
合 計		796	20,913	696	22,405

ア 歴史・地誌

書 名	著編者等
扇状地の都：京都をつくった山・川・土	藤岡換太郎，原田憲一著
摂関期古記録の研究	倉本一宏著
歩いてみよう地域を知ろうふるさと鏡山：鏡山小学校歴史クラブ地域学習資料集 新版	鏡山次郎著
古文書にみる大原の歴史とくらし：大原古文書研究会 第11回-第20回	大原古文書研究会
久邇宮家関係書簡集：近代皇族と家令の世界	上山和雄，内山京子，中澤恵子編
京都はどう織りなされてきたか：みやこの地域誌 (シリーズ日本の地域誌)	上杉和央著
柳谷観音道しるべ：楊谷寺の道標・丁石地蔵	向日市文化資料館，むこうまち歴史サークル石造物班
「そうだ京都、行こう。」の30年	ウェッジ編
歴史学による近世・近代災害史料集：地震・台風	矢田俊文編
佐々木惣一：論理ノ正確ハ法理探究ノ目標ナリ (ミネルヴァ日本評伝選)	伊藤孝夫著
近世京都の大名屋敷 (平安京・京都研究叢書:6)	藤川昌樹，山本雅和編著
新しい中世古文書学：アーカイブズとしての古文書 料紙総論編	上島有著
Lasting Kyoto：私たち高校生が思う残したい京都：鴨沂高校による京都文化紹介冊子	京都府立鴨沂高等学校企画/ユニオン・エー編集・制作
京都を学ぶ：文化資源を発掘する 丹後編	京都学研究会編
荘園史研究ハンドブック 増補新版	荘園史研究会編
宇治市街遺跡(川西地区)発掘調査報告書 (宇治市埋蔵文化財発掘調査報告書:第95集)	宇治市歴史まちづくり推進課編集
戦国丹波国衆伝：丹波の戦国武家を探る	田中豊茂著
あなたの話が聞きたい：綾部市今田町の里語り (あなたの話が聞きたい:続・続)	永井祐子，安達覚，塩見良則，波多野豪著
日本中世の東西と都鄙：中世史研究会五〇周年大会論集	中世史研究会編

イ 宗教

書 名	著編者等
宝積寺一三〇〇年：その信仰のかたち：第三二回企画展	[福島克彦編集・執筆]
今こそ行きたい京都の寺社100選(TJ mook)	島田裕巳監修
京都の最強神社：12社の謎を読み解く(祥伝社新書：701)	島田裕巳[著]
神道祭祀の伝統と祭式	沼部春友，茂木貞純編著
京都古社に隠された歴史の謎：知られざる古都の原像と信仰	古川順弘著
水と森とお米の国：水を司る神様・貴船神社の宮司が語る日本人の自然観	高井和大著
城南宮春夏秋冬	鳥羽良明文・写真
近世の神社・門跡と朝廷	石津裕之著
文殊菩薩の研究	光川豊藝著/井上博文，金澤豊編
続蔵経解題	河村孝照編著
仏教儀礼の音曲とことば：中世の〈声〉を聴く	柴佳世乃著
親鸞聖人の一生：親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃	今井雅晴著
東寺執行日記 第2巻	東寺文書研究会編
松尾大社：みやこの西の守護神（まもりがみ）：鳥取市歴史博物館展覧会図録	松尾大社企画・編集
吉田神道未公刊資料集1（神道資料叢刊：19）	松下道信，新田恵三共編
乃木神社御鎮座之記	乃木神社御鎮座之記編纂委員会編集
京都市西京区社会福祉協議会法人設立30周年記念誌	京都市西京区社会福祉協議会西京区ボランティアセンター

ウ 芸術・文芸

書 名	著編者等
聖地南山城：奈良と京都を結ぶ祈りの至宝：浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念：特別展	奈良国立博物館編集
国宝鳥獣戯画：北海道初公開：京都高山寺展—明恵上人と文化財の伝承	北海道立近代美術館，北海道新聞社編集
龍谷英華	本願寺編輯
妙心寺名寶圖録	恩賜京都博物館編
美と用の煌めき：東本願寺旧蔵とゆかりの品々：特別展	大谷大学博物館編集
相国寺展：金閣・銀閣鳳凰がみつめた美の歴史：相国寺承天閣美術館開館四十周年記念	高橋範子[ほか]編集
Art space co-jin：きょうと障害者文化芸術推進機構活動報告書 2023 年度	art space co-jin 編
京都の文化財 第41集	京都府教育庁指導部文化財保護課編

石工芸の伝統と美：京都・西村石灯呂店の仕事	西村大造編著/尼崎博正執筆
京都・南山城の仏像：浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念特別展	東京国立博物館，日本経済新聞社編集
京都タワーの見える風景	吉川博人著
草花の便り：京都大原「里の駅」より	西山裕子著
ほんやら洞：70年代京都	甲斐扶佐義著
京都丹平：創立75周年記念写真集	京都丹平創立75周年記念写真集編集委員会編集
窓（京都の意匠：Kyoto design inspirations）	水野克比古，水野秀比古著
「京都民藝同好会」の展覧会活動	三石恵莉[著]
京蒔絵の美：下出祐太郎の継承と挑戦 第2版	京都産業大学ギャラリー編集
ベラミ楽団の20世紀：音楽でつづる日本現代史	本庄豊著
光源氏の夢（京都薪能：第73回）	京都薪能企画制作委員会制作・編集
同志社大学体育会アメリカンフットボール部五十年の歩み	同志社大学体育会「アメリカンフットボール部50年の歩み」編集発行委員会編
立命館大学硬式野球部百年史	立命館大学硬式野球部OB会
930年目の賀茂競馬	京都産業大学ギャラリー編集
了々：九代	不審菴文庫編
華道京展：第七十五回記念誌	京都いけばな協会編
立命将棋：創部70周年記念誌	立命館大学将棋部OB会
大田垣蓮月：百五十回忌に当りその生き様に学ぶ	[大田垣義夫]
京都たのしい源氏物語さんぽ	朝日新聞出版編著
京都という劇場で、パンデミックというオペラを観る	古川日出男著

エ 社会・産業

書名	著編者等
日本を京都を創るシニアとミドルの自分史交流	富士谷あつ子，上杉孝實編著
ルポ京アニ放火殺人事件	朝日新聞取材班著
餃子の王将社長射殺事件 最終増補版	一橋文哉[著]
「おかね」の歴史とデザイン：京都教育大学所蔵古紙幣の世界	京都教育大学教育資料館まなびの森ミュージアム
社会福祉法人城陽福祉会40年史：40年史 plus 3 years	城陽福祉会
バザールカフェ：ばらばらだけど共に生きる場をつくる	狭間明日実[ほか]著
松のひびき光とともに：松寿苑70周年記念誌	松寿苑総務部集
地震被害のマルチスケール要因分析	大邑潤三著
京都市社会福祉協議会創立70周年誌：平成から令和へ10年間の歩み	京都市社会福祉協議会
全国学校総覧 2025年版	全国学校データ研究所編
夜久野の学び舎今昔物語：台本：修正版	瀬田真澄製作

とっておきの京響探究新聞	京都府立聾学校高等部
京都秦家：町家の暮らしと歴史	秋元せき，小林文広，三枝暁子著/西村豊写真
上宮津杉山ものがたり	上宮津杉山ものがたり編集委員会
京・山科の植物：山科の人気植物観察コースを歩く	紅野博著
コロナ禍の医師たち：記憶と記録がこれからの感染症対策の出発点に	京都府保険医協会
産廃公害のない自然と歴史のまち深草へ：深草の環境を守る会 24 年のあゆみ	深草の環境を守る会 24 年のあゆみ委員会
京のほんまもん：井筒八ツ橋本舗六代津田佐兵衛物語	六代津田佐兵衛，七代津田佐兵衛語り/根津眞澄聞き書き

オ 参考図書

書 名	著編者等
京都のワクワクする大学博物館めぐり	大坪覚著
本かたちと文化：古典籍・近代文献の見方・楽しみ方	国文学研究資料館編集
文化財と標本の劣化図鑑	岩崎奈緒子[ほか]編集
『大漢和辞典』の百年	池澤正晃著

カ 官庁資料

区分	書 名	著編者等
京都関係	京都府労働委員会：労働トラブル解決のお手伝い	京都府労働委員会事務局
	知的障害者と共に働くあるあるガイドブック 令和 3 年 3 月一部改訂	京都府
	京都府統計書 令和 4 年(2022 年)	京都府総合政策環境部企画統計課
	京都府立植物園：開園 100 周年記念	京都府立植物園
	京都府新型コロナウイルス感染症対応資料【1】～【8】	京都府
	大野ダム水文 10 年報 第 6 版 平成 24 年-令和 3 年(附令和 4 年)	京都府大野ダム総合管理事務所
	京都丹波高原国定公園：森の京都：森・川・里に守り継ぐ自然と文化	京都府自然環境保全課
	京都の海で漁師になる：海の民学舎 10 年記念誌	京都府水産事務所海のにぎわい企画課編集
国	統計百五十年史	総務省統計局
	家計の金融行動に関する世論調査 令和 5 年(2023)	金融広報中央委員会
	森林と生活に関する世論調査 令和 5 年 10 月調査(世論調査報告書)	内閣府大臣官房政府広報室

キ 古典籍

資料名	著編者等
群賢押譜	[竹村某編], 中川藤四郎, 今津屋辰三郎 [ほか][出版]
天保改正華洛名所記	池田東籬亭編, 竹原好兵衛[出版]
慶應三年西京安樂寺天満宮圖	佐々木義久[画]
六月七日祇園會山鉾之次第(きおんゑやまほこのしだい)	丸屋善兵衛[出版]
京都奇話	[威力院義導著]
洛陽三十三所并三熊野	[出版者不明]
繪本法末廣 : 全	秋田屋藤兵衛, 著屋甚助, 海部屋勘兵衛, 藤屋九兵衛[出版]

ク 雑誌・新聞等

京都関係、日本の歴史、美術工芸、伝統的芸能、官庁関係等の雑誌類及び新聞類を次のとおり収集し、所蔵しています。

区 分	総 数	継続購入数	継続寄贈・取得数
京 都 関 係	3,706	3	1,034
一般(歴史・美術・官庁等)	3,097	63	729
京 都 官 庁 関 係	909	—	254
計	7,712	66	2,017

本年度は『京都雑報』（明25）などを収集しました。

(2) 行政文書

ア 収集

「京都府文書の保管、保存等に関する規程」第15条により永年保存文書の移管を、また、同規程第14条により有期限保存文書の引渡しを受けています。

本年度は、京都府庁で保存する紙媒体の有期限保存文書47点について、学術研究資料としての価値の有無を調査しました。

永年保存文書の移管		有期限保存文書の引渡し	
完 結 年 度	点数	完 結 年 度	点数
平成9年度分	1,068	京都府立京都学・歴彩館	47
過年度分	421	合 計	47
合 計	1,489		

イ 整理

同規程第14条により有期限保存文書の引渡しを受けた資料50点について、目録を作成し、検索システムの京の記憶アーカイブで公開しました。

(3) 文書の保存と複製資料の作成

ア 資料の保護

傷みの激しい文書や酸性劣化の恐れのある文書を中性紙の封筒及び専用保存箱に収納したり、データ化することにより代替物での閲覧提供を可能とすることで、文書の更なる損傷を予防するとともに、データのバックアップを行い、資料の安全な保存に努めました。

イ 複製資料の状況

資料区分	令和6年度収集			累 計(令和7年3月31日現在)		
	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)
古 文 書	—	—	—	556	1,388	2,205
行政文書	—	—	—	9	0	917
合 計	—	—	—	565	1,388	3,122

ウ デジタル化資料

本年度末時点での、デジタル化資料のインターネット公開状況は、次のとおりです。

データベース名	画像データ	公開時期
東寺百合文書WEB	約8.1万コマ	平成26年3月～
歴史資料アーカイブ		平成27年11月～
図書資料	約46.1万コマ	
古文書	約2.2万コマ	
写真資料	約7.9万コマ	
美術工芸品他	約0.8万コマ	
行政文書	約8.8万コマ	
国書データベース	約13.9万コマ	令和3年7月～

(令和7年3月31日現在)

* 図書資料は、国文学研究資料館が構築する国書データベースに画像データを新規公開・一部移行しました。

(4) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に業務委託して収集した美術工芸資料等は、10件58点で、明細は次のとおりです。

受入先	資料区分	資料名	点数	収集区分
1	日本画	鈴木百年先生門下合作 ほか	17	寄贈
2	漆芸	柏葉置物	1	寄贈
3	民俗	講札(八坂瓊講) ほか	6	寄贈
4	日本画	彩秋	1	寄贈
5	日本画	洛中洛外図屏風 ほか	3	寄贈
6	歴史	百人一首 ほか	2	寄贈
7	歴史	八木家古文書	1	寄贈
	その他	八木家写真集 ほか	7	
8	日本画	白菊 ほか	3	寄贈
9	漆芸	夜の演奏者 ほか	5	寄贈
10	書	六言絶句「黄巻一生事業」 ほか	4	寄贈
	日本画	三國幽眠歌碑図 ほか	2	
	その他	三國幽眠像(鶏卵紙) ほか	6	
合 計			10件 58点	

1 2 調査

本年度、調査した文書は次のとおりです。

(1) 行政文書

京都府文書の保管・保存等に関する規程に基づき、各課(室)から総務調整課に引き継がれた文書(紙媒体のみ)のうち、保存期限が経過した有期限保存文書の紙媒体約7,500点、電子媒体約17,000点を学術研究資料としての価値について調査しました。

1 3 京都府行政文書修理事業

平成14年に都道府県行政文書として初めて国の重要文化財に指定された「京都府行政文書」(京都府立庁前年(慶応3年)から昭和21年度までの15,407点)について、適切な保存と積極的な利・活用を図るため、損傷等の修理を行いました。

今年度は明治・大正・昭和期の資料2点の修理を行ったほか、69点の資料に経常的な手当てを行いました。

1 4 図書館実習・インターンシップ

(1) 図書館実習

同志社大学学生 令和6年8月27日～8月30日(4日間) 1人

(2) インターンシップ

今年度の受入はありませんでした。

1 5 新聞掲載等

年月日	新聞名等	見出し
令和6年 5月18日(土)	京都新聞	林康夫、坪井明日香展 府立京都学・歴彩館 前衛表現 陶芸で開拓
令和6年 5月25日(土)	京都新聞	洛中洛外ふしぎ探訪 「伏見駅」、なぜ中心部から離れている
令和6年 6月2日(火)	京都新聞	くぐっと京都 3メガバンクそろい踏みの伏見・大手筋
令和6年 7月30日(火)	B S 1 1	中山秀征の楽しく1万歩! 街道びより 第41回「龍馬が歩いた街・京都伏見で名水グルメ満喫!」 (資料課若林正博出演)
令和6年 8月3日(土)	京都新聞	地域プラス ちょっと待って「三条御池」?
令和6年 9月1日(日)	京都新聞	くぐっと京都 JR 稲荷駅なぜ快速止まらぬ
令和6年 9月24日(火)	京都新聞	旧総合資料館 石畳どうなる? 実は知る人ぞ知る「お宝」旧市電の敷石
令和6年 10月8日(火)	京都新聞	丹後中丹版 「幻の路面電車計画」思いはせ戦前、舞鶴で導入計画 学芸員が断念理由指摘

令和6年 10月8日(火)	京都新聞	京都市左京区の京都府立植物園が歩んだ苦難の歴史 GHQ に接收された終戦後の様子は 歴史をたどる特別展
令和6年 10月30日(水)	京都新聞	家光 3 度目の上洛、京の都からあふれた「30 万人」
令和6年 11月2日(土)	N H K 地 上波	ブラタモリ東海道“五十七次”の旅 第一夜 京都・三条大橋から伏見へ（資料課若林正博出演）
令和6年 11月3日(日)	読売テレビ	大阪ほんわかテレビあなたの知らない関西！ 京都競馬場の真ん中にある巨大な池（資料課若林正博出演）
令和6年 12月3日(火)	京都新聞	古代銭の成り立ち解説 律令国家のパワーと威厳 南区で歴彩館職員講演
令和6年 12月24日(火)	京都新聞	大工頭・中井家 果たした役割は 江戸期に二条城、京都御所を造営 左京で研究者らシンポ
令和6年 12月27日(金)	京都新聞 ほか	学生ら選んだ歴史資料 歴彩館で展示会 災害史や近代建築
令和7年 2月14日(金)	京都新聞	今尾景年 没後 100 年で光 明治期・京の日本画家、「花鳥画譜」出版 染織・陶器にデザイン応用 万博出品も 歴彩館で企画展
令和7年 3月3日(日)	京都新聞	江戸末期 京丹波に落下 曽根隕石「落下音は法螺貝」
令和7年 3月4日(火)	京都新聞	文化財保存 方策探る 9 日、左京でシンポ

16 ウェブ提供サービスのまとめ

コンテンツ		統計項目	
ホームページ（京都府）		閲覧数(トップページ)	53,467
		閲覧数(全ページ)	102,207
ホームページ（指定管理者）		閲覧数(トップページ)	109,552
		閲覧数(全ページ)	382,522
京都府立京都学・歴彩館デジタルアーカイブ		閲覧数(トップページ)	68,763
		閲覧数(全ページ)	557,077
		書誌アクセス数	134,288
		画像ダウンロード数	115,250
古文書	資料群	提供件数	1,211
		新規登録件数	0
	目録	提供件数	140,157
		うち提供画像数	22,816
		新規登録件数	0
		新規登録画像数	2

	行政文書 (国立公文書館デジタルアーカイブへも連携)	簿冊	提供件数	90,558
			新規登録件数	0
		件名	提供件数	634,126
			うち提供画像数	86,597
			新規登録件数	7
	写真資料	資料群	新規登録画像数	0
			提供件数	14
		目録	新規登録件数	0
			提供件数	132,084
			うち提供画像数	69,447
	近代文学資料		新規登録件数	0
			新規登録画像数	0
	古典籍・図書		提供件数	3,641
			提供画像数	0
			提供タイトル数	2,879
			うち提供画像数	461,383
東寺百合文書 WEB *1 商業サイトのクローラによるアクセスと思われるものを除く。 *2 昨年とはデータのとり方が異なる。	行政文書寺院関連情報		新規登録タイトル数	0
			新規登録画像数	0
	京都雑誌記事 論文等	雑誌記事	提供タイトル数	2,879
			うち提供画像数	461,383
		京都府関係パンフレット	新規登録タイトル数	0
			新規登録画像数	0
	京都府百年の年表		提供件数	7,997
			提供画像数	0
	京都府公報目次		提供タイトル数	2,879
			うち提供画像数	461,383
	京都学・歴彩館所蔵 (国立国会図書館サーチへも連携)		新規登録タイトル数	0
			新規登録画像数	0
	3 館合同蔵書検索システム (京都府図書館総合目録ネットワークへも連携)		提供件数	80,845
			新規登録件数	309
	CiNiiBooks (国立情報学研究所との連携)		提供画像数	3,298
			新規登録画像数	176
	国書データベース(国文学研究資料館との連携)		提供件数	143
			新規登録件数	26

国立国会図書館 レファレンス協 同データベース	レファレンス事例	新規登録タイトル数	403
		新規登録画像数	25,888
		登録事例数	734
		うち新規登録事例数	22
	調べ方マニュアル	事例アクセス数	840,778
		登録事例数	8
		うち新規登録事例数	0
		事例アクセス数	3,130
	X (旧 Twitter)	新規投稿数	236
		インプレッション	351,285
		エンゲージ	12,838
		エンゲージ率	3.7%
		新規投稿数	33
		インプレッション	65,365
		エンゲージ	3,052
		エンゲージ率	4.7%
		新規投稿数	41
		インプレッション	56,287
		エンゲージ	1,904
		エンゲージ率	3.4%
Facebook	全体	新規投稿数	230
		インプレッション	45,109
		エンゲージ	3,894
		エンゲージ率	8.6%
	京都あれこれ (京都に関する資料の紹介・ 解説など)	新規投稿数	31
		インプレッション	6,964
		エンゲージ	825
		エンゲージ率	11.8%
	POP を使った所蔵資料の紹介	新規投稿数	40
		インプレッション	7,641
		エンゲージ	544
		エンゲージ率	7.1%

令和6年4月1日～令和7年3月31日

* 統計項目の語句について

・インプレッ ション	投稿がユーザーの画面（タイムライン）に表示された回数
・エンゲージ	投稿に対して何かしらの反応（「いいね」や「RT(リツイート)」など） を示した回数
・エンゲージ率	エンゲージ数÷インプレッション数×100

17 施設の状況

○令和7年3月31日現在（京都学・歴彩館）

敷地面積	116,932.79 m ²	
建物面積	6,716.04 m ²	延 23,940.68 m ²
建設費	約100億円	
構造	鉄骨造 地上4階 地下2階	

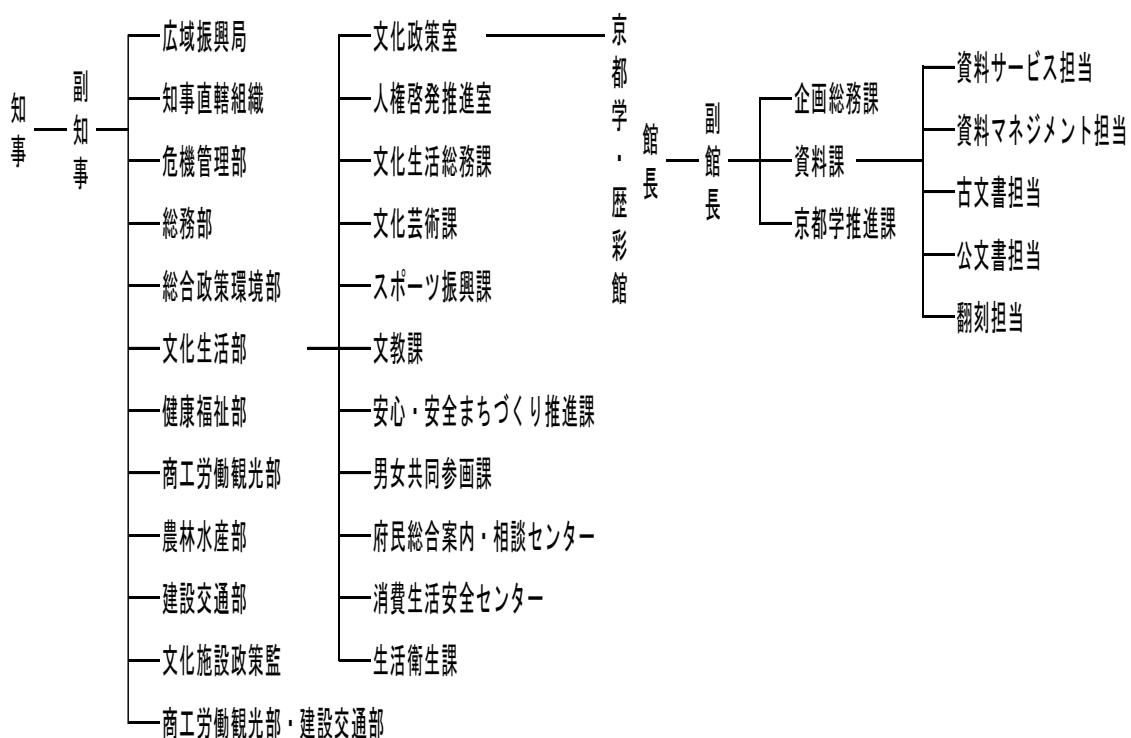
主要室の規模

1階	2階	地下1階	地下2階
学習室 160 m ²	図書閲覧室 1,259 m ² (開架書庫含)	書庫・収蔵庫 3,447 m ²	書庫・収蔵庫 3,517 m ²
展示室 290 m ²			
大ホール 511 m ²	府大閲覧室 2,012 m ² (書庫含)	撮影室 73 m ²	
小ホール 199 m ²			
京都学ラウンジ 151 m ²			
京都学研究室 142 m ²			
府大書庫等 177 m ²			

18 組織・職員数・業務分担・予算

(1) 組織

○令和7年3月31日現在



(2) 職員数

○令和7年3月31日現在（京都学・歴彩館）

	職 員（再任用を含む）	会計年度任用職員等
館 長	－	1
顧 問	－	1
副館長	2	－
企画総務課	4(※)	2
資料課	24	14
京都学推進課	4(※)	3
計	34	21

(※)副館長は、それぞれ企画総務課長事務取扱・京都学推進課長事務取扱であるが、再掲していない。

(3) 業務分担

ア 企画総務課

- 1 館運営等に関すること。
- 2 館発信事業の推進等に関すること。
- 3 人事、服務、給与及び勤務条件等に関すること。
- 4 連絡調整に関すること。
- 5 予算、決算及び会計事務に関すること。
- 6 備品及び物品の調達及び保管に関すること。
- 7 財産の管理及び庁舎の管理に関すること。
- 8 （公財）京都文化財団への業務委託等に関すること。
- 9 その他庶務及び他課の所管に属さないこと。
- 10 保安業務に関すること。

イ 資料課

- 1 各種資料の調査・選別・収集並びに整理・保存に関すること。
- 2 各種資料の閲覧、利用及びレファレンスに関すること。
- 3 各種資料の普及並びに他機関等との連携に関すること。
- 4 担当業務の総括及び関係機関との連絡調整に関すること。

ウ 京都学推進課

- 1 京都の歴史や文化に関する研究の推進に関すること。
- 2 府内の大学等との連携による府域の文化資源の共同研究に関すること。
- 3 国内外の大学等との連携による研究交流及び研究支援に関すること。
- 4 海外の若手研究者の招聘及び研究支援に関すること。
- 5 京都資料のデジタル閲覧に関すること。
- 6 各種講座、シンポジウム、セミナー等の開催に関すること。
- 7 研究成果の発信及び交流事業に関すること。
- 8 府内自治体との共同による府域の文化の紹介に関すること。

(4) 予算状況 (令和7年度当初予算)

(単位: 千円)

区 分	予算額	説 明
一般活動費(京都学・歴彩館)	24,900	一般管理運営に要する経費
京都学・歴彩館資料保存活用事業費	62,921	
重要文化財京都府行政文書修理事業費	(3,414)	京都府行政文書の修理・補修費用
京都学・歴彩館展示室運営事業費	(2,517)	美術工芸品や貴重な文書資料等の優品を展示室において展示
文化資料業務委託事業費	(56,990)	美術・工芸、伝統産業の現物資料の保存・展示
京都学・歴彩館統合情報システム運営費	38,537	所蔵資料の検索を容易にする統合情報システムの運用
国際京都学活動推進事業費	8,060	京都の歴史、文化に関するセミナー、講座を実施し、国内外の大学や研究機関との研究ネットワークを構築
計	134,418	

※管理費を除く

19 令和6年度の主な活動

- 6.4.17 資料に親しむ会「納豆再考」
- 6.4.24 電気設備における緊急修繕の実施に伴い臨時休館 (9:00～13:00)
- 6.5.9 2階閲覧室利用状況調査 (～5.15、11.14～11.20)
- 6.5.15 資料に親しむ会「京都のお風呂 いま・むかし」
- 6.5.22 京都を学ぶセミナー「丹後編」第1回開催
- 6.5.25 一般財団法人東方学会見学受入
- 6.6.6 図書館司書専門講座派遣 (～6/19)
- 6.6.8 京都先端科学大学見学受入
- 6.6.11 資料に親しむ会「描かれた嵐山」
- 6.6.16 第5回 国際研究集会「御所(宮殿)・邸宅造営関係資料の地脈と新天地」開催
- 6.6.18 京都府立大学文学部「博物館実習」見学受入
- 6.6.25 京都を学ぶセミナー「丹後編」第2回開催
- 6.6.30 京都女子大学見学受入
- 6.7.2 日本古典籍講習会派遣 (～7/5)
- 6.7.2 京都を学ぶセミナー「丹後編」第3回開催
- 6.7.9 京都府立大学授業対応
- 6.7.13 令和6年度京都府ミュージアムフォーラム合同展覧会「スポットライト-今、ミュージアムが光を当てたい逸品展-」開催 (～9.8)
- 6.7.16 同志社高等学校見学受入
- 6.7.17 資料に親しむ会「日露戦争と京都府」

- 6. 7. 18 京都府立大学授業対応
- 6. 7. 30 寺子屋講座「江戸の算術《和算》を学ぼう！」「歴彩館でボードゲームを楽しもう！」(8. 7)
- 6. 7. 31 文化生活部新採職員等研修見学受入
- 6. 8. 6 京都府立大学授業対応
- 6. 8. 21 日本名作映画上映会開催
- 6. 8. 21 京都府立高等学校図書館協議会司書部会夏期研修会見学受入
- 6. 8. 27 京都を学ぶセミナー「丹後編」第4回開催
- 6. 8. 27 図書館実習生受入（同志社大学）（～8. 30）
- 6. 9. 18 資料に親しむ会「新版画の月と星」
- 6. 9. 20 海外若手研究員による府民向けセミナー開催
- 6. 9. 25 京都を学ぶセミナー「丹後編」第5回開催
- 6. 9. 29 府立大学文学部と共催で国際京都学シンポジウム開催
- 6. 9. 「洛南の文化資源」共同研究会の報告書作成
- 6. 10. 4 秋篠宮皇嗣同妃両殿下行啓、令和6年度特別展京都府立植物園開園100周年記念「植物園のはじまりと100年の森」台覧、金田館長進講
- 6. 10. 16 資料に親しむ会「将棋の愛好者たち」
- 6. 10. 23 京都を学ぶセミナー「丹後編」第6回開催
- 6. 11. 6 西日本私立小学校連合会学校図書館部会教員研修会見学受入
- 6. 11. 20 資料に親しむ会「旅と名所図会（江戸編）」
- 6. 11. 24 同志社大学文学部見学受入
- 6. 11. 29 京都女子大学文学部見学受入
- 6. 11. 30 京都産業大学文化学部見学受入
- 6. 11. 30 京都精華大学国際文化学部見学受入
- 6. 12. 7 府立大学文学部歴史学科と共催でシンポジウム開催
- 6. 12. 8 立命館大学見学受入
- 6. 12. 14 展示「第7回 府大生∞歴彩館 コラボで探る京都学」開催（～6. 1. 7）
- 6. 12. 18 日本名作映画上映会開催
- 6. 12. 18 図書システム更新および蔵書整理期間のため2階休館（～6. 12. 27、7. 1. 5）
- 7. 1. 9 京都ノートルダム女子大学見学受入
- 7. 1. 14 京都府議会文化生活・教育常任委員会施設見学
- 7. 1. 15 資料に親しむ会「江戸時代の陰陽師」
- 7. 1. 22 京都ノートルダム女子大学見学受入
- 7. 1. 28 中ノ堂一信氏旧蔵資料寄贈
- 7. 2. 10 京都府立大学見学受入
- 7. 2. 19 資料に親しむ会「京都と映画」
- 7. 3. 11 海外若手研究員による府民向けセミナー開催
- 7. 3. 12 『京都学・歴彩館紀要』第8号 刊行
- 7. 3. 19 資料に親しむ会「西山卯三と昭和の京都」
- 7. 3. 31 『京都を学ぶ【洛南編】』刊行

20 沿革

【(旧)総合資料館】

昭和34.	34年度予算に調査・準備費を計上
35. 6. 6	「建設のための懇話会」を設置
36. 12. 8	起工式
37. 11. 10	定礎式
38. 10. 28	設置条例制定・施行（京都府立総合資料館条例・昭和38年条例第29号）
38. 11. 15	開館式及び祝賀会を挙行。翌16日から閲覧業務等開始（庶務部に庶務係・経理係、資料部に展示係・資料係、図書部に収書係・目録係・閲覧第一係・閲覧第二係・閲覧第三係を置く。3部9係）
39. 2. 21	文献資料の複写業務を開始
39. 4. 1	機構改革（係を課とし、3部9課）
39. 11. 14	「京都府立総合資料館友の会」発足
40. 4	京都府開庁100年を記念して京都府百年史を編さんすることとなり、事業を開始
41. 6	民謡調査を開始
42. 8. 11	「東寺百合文書」を受入れ、整理・補修業務を開始
43. 4. 23	京都府百年史編さん事業の本格化に伴い百年史編さん室を設置（3部1室9課）
43. 11	昔話調査を開始
45. 4	『京都新聞』（明治18年～昭和44年）のマイクロフィルム作成事業を開始
45. 8. 6	「古文書講習会」を開始
45. 8. 11	「東寺百合文書」及びその他の古文書の整理・保存事業を進めるため資料部に古文書課を設置するとともに、組織を再編（庶務部に庶務課、資料部に資料課・古文書課、図書部に整理課・閲覧課、百年史編さん室の3部1室5課）
45. 9. 22	「館蔵品陳列場」（現・2階展示室）を開設
45. 12	資料の寄託制度を開始
46. 1. 1	『資料館だより』創刊
46. 6	新聞マイクロフィルム版等の閲覧・複写業務を開始
46. 7. 15	第2収蔵庫完成（鉄筋コンクリート2階建 延274.76㎡）
46. 7	『公開特許公報』『公開実用新案公報』の閲覧業務を開始
47. 3. 31	『資料館紀要』創刊
47. 6. 1	京都府百年史編さん事業完了のため、百年史編さん室を廃止。同時に、当館に移管されることになった京都府庁文書を中心に関係資料を収集・整理するため、資料部に行政文書課を設置（3部6課）
48. 3. 30	第3収蔵庫完成（鉄筋コンクリート2階建、恒温恒湿設備、延1702.18㎡）
48. 6. 16	部制を廃止し、次長を置く。また、組織も6課に再編するとともに、各課に資料主任を置く。（庶務課（庶務係、経理係）、文献第一課、文献第二課、文化資料課、古文書課、行政文書課の6課2係）
48. 11. 15	開館10周年・新収蔵庫竣工記念式典を開催
48. 12	東寺観智院金剛藏聖教調査を開始

49. 4	有形民俗資料調査を開始
49. 8	教科書を収集
51. 1	「京の百景」を受入れ
51. 5. 26	組織を整理・統合（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、文化資料課、歴史資料課の4課2係）
51. 1	視覚障害者・身体障害者のため、玄関スロープ設置等の施設整備に着手
52. 3	府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
52. 4	古文書の公開を開始
52. 1	古文書所在情報調査を開始
53. 3	府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
55. 1	「東寺百合文書」の公開を開始
55. 4	「東寺百合文書」のマイクロ化事業を開始
55. 6. 6	「東寺百合文書」が重要文化財に指定される
56. 4	近世文書マイクロ写真版の閲覧を開始
56. 6. 9	「東寺観智院伝来文書典籍類」が重要文化財に指定される
56. 9. 10	第1回「古文書教室」を開催
57. 4	古文書センター推進事業に着手
57. 7. 4	大閲覧室、軽読書室、学習室、文書閲覧室の日曜日開室を実施し、毎月20日を休室日とする。
58. 4	「東寺百合文書」の第2次修理を開始
58. 4. 19	「軽読書室」を閉鎖
58. 5. 18	「京都府行政情報資料センター」を開設 大閲覧室内に「軽読書コーナー」を設置
58. 10. 14	開館20周年記念式典を開催。翌15日に記念講演会を開催
59. 4. 1	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会に加入
59. 4. 14	「革嶋家文書」及び「袈裟襷文銅鐸」が京都府指定文化財に指定される
60. 5. 16	府内市町村図書館等を窓口とする館蔵図書の複写受付業務を開始
61. 7. 1	国立国会図書館所蔵図書の閲覧利用サービスを開始
62. 5. 12	「古文書相談」を開始
63. 3. 29	美術工芸・歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を京都府京都文化博物館（昭和63年10月開館）を運営する財団法人京都文化財団に委託するため、総合資料館条例一部改正条例（昭和63年条例第3号）を制定公布
63. 4. 14	ブック・ディテクション・システム（図書持出防止装置）を設置
63. 4. 18	文化資料課を廃止（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、歴史資料課の3課2係） 美術工芸、歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を財団法人京都文化財団に委託
63. 9. 30	京都府京都文化博物館の開館に伴い、「展示室」を廃止 「京都府行政情報資料センター」を廃止
63. 10. 1	京都府情報公開条例の施行に伴い、「府政情報コーナー」を設置
平成元. 4	貴重書のマイクロフィルム作成事業を開始 廃止した展示室の書庫・文書庫への改修など収蔵施設の整備を実施
元. 10. 20	第1回「文化講座」を開催
2. 10. 8	古文書のマイクロフィルム公開を開始

- 3. 5 明治期京都府庁文書（永年文書）の緊急補修事業を開始
- 4. 4. 1 日本図書館協会に再加入
- 4. 7. 1 京都府図書館等連絡協議会に加盟する図書館等との資料貸借業務を開始
- 5. 4. 1 定例休館日を毎月20日から毎月第2水曜日に変更
- 5. 5. 20 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会に設立加入
- 5. 11. 7 開館30周年記念事業「北山まつり」を開催
- 6. 6. 4 「特別資料室」を開設し、吉田文庫を公開
- 9. 4 京都府立図書館の貴重書デジタル画像作成に資料提供
- 9. 6. 30 「東寺百合文書」が国宝に指定される
- 10. 3. 31 「京都府知的所有権センター」の開設により、「特許資料室」を閉鎖
- 10. 12 閲覧可能な古文書の所在情報調査を開始
- 11. 4 京都府20世紀歴史資料保存事業を開始
- 12. 4 京都府20世紀資料整理事業を開始
- 12. 9. 30 「特別資料室」を閉鎖
- 12. 10. 1 京都府立図書館への図書資料の一部移管作業、館内施設整備等のため、大閲覧室及び学習室を休室
- 12. 12. 28 文書閲覧室を含め全館休館
- 13. 3. 23 「京都府行政文書」が府指定有形文化財に指定される
- 13. 5. 11 京都府立図書館の新築開館に合わせ、当館も再開館（大閲覧室を図書閲覧室に名称変更、文書閲覧室を4階から3階へ移設、図書検索・貴重書画像閲覧の端末設置、木曜講座の開催等）
- 13. 7. 2 京都府図書館総合目録ネットワークシステムによる相互貸借を開始
- 13. 10. 9 国立国会図書館総合目録ネットワークに参加
- 14. 5. 23 「総合資料館府民講座」を開始
- 14. 6. 26 「京都府行政文書」が重要文化財に指定される
- 14. 7. 19 ホームページを開設
- 14. 11. 26 「古文書解説講座」を開始
- 14. 12 「京の文化振興プラン（その1）－京都府が所蔵・保管する貴重な資料の活用方策－」策定
- 15. 5. 29 「革嶋家文書」が重要文化財に指定される
- 15. 11. 15 開館40周年を迎える
- 16. 3. 25 東寺百合文書翻刻史料集第1巻を刊行。記念シンポジウムを開催
- 16. 4. 1 「総合資料館所蔵資料データベース－京都北山アーカイブズ－」の公開開始
- 19. 12 総合資料館あり方検討プラン策定
- 21. 1 総合資料館基本構想（案）取りまとめ
- 21. 3. 24 古久保家文書が府指定有形文化財に指定
- 21. 3. 27 府立大学、府立植物園、府立総合資料館の3機関が包括協定を締結
- 21. 8. 25 「古文書入門教室」を開始
- 21. 9. 10 「歴史資料カレッジ」を開始
- 21. 10 北山文化環境ゾーン整備推進委員会による「北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告」公表
- 21. 10. 17 植物園、府立大学と共同で包括協定締結記念事業「北山から未来へ」
- ～11. 26 を開催

- 22. 5 「北山文化環境ゾーン整備委員会における検討状況」公表
- 23. 7. 1 画像データ閲覧システム「京の記憶ライブラリ」を公開
- 23. 7. 22 京都府新総合資料館（仮称）公募型設計競技第1次審査の結果公表
- 23. 10. 14 京都府新総合資料館（仮称）公募型設計競技の結果公表
- 23. 11. 16 新資料館設計協議結果展
～22
- 24. 5. 16 国際京都学センターの開設準備のための府立大学と総合資料館の共同研究
（ACTR）を開始
- 24. 10. 2 国際京都学センターの開設に向けて「京都学へのいざない講座」を開始
- 24. 12 新総合資料館（仮称）建築工事の実施設計を策定
- 25. 5. 21 館所蔵の国宝「東寺百合文書」がユネスコ記憶遺産の登録候補として日本ユ
ネスコ国内委員会から推薦決定
- 25. 7. 4 新総合資料館（仮称）建築工事契約・着工
- 25. 11. 15 開館50周年を迎える
- 25. 11. 16 開館50周年記念シンポジウムを開催
- 26. 3. 3 「東寺百合文書WEB」公開開始
- 26. 3 日本ユネスコ国内委員会から記憶遺産登録に向けての推薦書をユネスコ
へ提出
- 26. 6. 12 「東寺百合文書」が日本ユネスコ国内委員会より世界記憶遺産登録候補とし
て選定
- 26. 11. 7 Library of the Year 2014 大賞受賞
- 27. 8. 1 文化資源発掘プロジェクトによる共同研究の開始
- 27. 10. 10 「東寺百合文書」がユネスコ世界記憶遺産に登録
- 27. 11. 10 「京の記憶アーカイブ」公開開始
- 27. 11. 12 「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」開始
- 28. 7. 8 京都府新総合資料館（仮称）棟 引渡
- 28. 9. 13 京都府立総合資料館 閉館

【京都学・歴彩館】

- 28. 12. 1 京都府立京都学・歴彩館 条例施行
- 28. 12. 23 京都府立京都学・歴彩館 一部オープン
- 29. 1. 27 「京都を学ぶセミナー」を開始
- 29. 2 公益財団法人 陽明文庫所蔵資料のデジタル画像の収集及び館内公開に関す
る覚書締結
- 29. 4. 28 京都府立京都学・歴彩館 グランドオープン
陽明文庫デジタル画像閲覧を開始
- 29. 7～ 海外若手研究員に係る世界の主要な日本文化研究機関との連携及び覚書締結
開始（平29年度中に計7（海外4・国内3）機関と締結）
- 29. 7. 6 「京都学ラウンジミニ講座」を開始
- 29. 12～ 京都学・歴彩館への京都府立大学文学部移転
- 29. 12. 6 「古文書ヨル学会－入門編－」を開始
- 29. 12. 12 「資料に親しむ会」を開始

- 30. 1. 9 海外若手研究員 受入開始
- 30. 2. 16 「海外若手研究員による府民向けセミナー」を開始
- 30. 5. 25 「京都の出版社に聞く」を開始
- 30. 10. 1 京都学ラウンジ倶楽部の発足
- 30. 11. 10 「陽明文庫講座」を開始
- 30. 12. 4 独立行政法人国際交流基金京都支部と共催の日本名作映画上映会を開始
- 31. 3. 23 京都府文化賞受賞記念の公演等開始
- 31. 4. 1 人間文化研究機構総合地球環境学研究所との学術交流・協力に関する基本協
定書の締結
- 令和元. 6. 1 府民協働連続講座開始
- 2. 4. 1 一部指定管理者制度を導入
- 2. 4. 1 北山プロムナード供用開始
- 2. 8. 24 文部科学大臣から科学研究費補助金取扱規程第2条に規定する研究機関と
して指定される【登録機関の名称:京都府立京都学・歴彩館（京都学推進課）】
- 3. 1. 1 国立公文書館による認証アーキビスト制度創設により、職員4名が認証をうけ
る。
- 3. 5. 13 賀茂別雷神社所蔵資料のデジタル画像公開の覚書締結
- 4. 4. 1 ほっとスペース リニューアルオープン
- 6. 10. 4 秋篠宮皇嗣同妃両殿下行啓、令和6年度特別展京都府立植物園開園100周年
記念「植物園のはじまりと100年の森」台覧、金田館長進講

(参考資料)

館蔵資料の国宝等指定一覧（令和7年3月31日現在）

No.	種 別	資 料 名	点数等	概 要
1	国宝 (平9. 6. 30 指定) ユネスコ 「世界の記憶」 (平27. 10. 10 登録)	東寺百合文書	※ 18, 646点	京都市南区の東寺（教王護国寺）に伝えられた文書で、奈良時代から江戸時代初期に至る約1, 000年間の文書群です。 内容は宗教活動、寺院経済、荘園経営など中世史研究等の基本資料で、昭和42年、文化財保護を目的に京都府が購入しました。
2	重要文化財 (昭56. 6. 9 指定)	東寺観智院伝来文書典籍類	57点	東寺の子院である観智院の金剛蔵に伝わった中世資料で、東寺百合文書同様、貴重な学術資料です。なお、本典籍類は同文書と同時に購入しました。
3	重要文化財 (平14. 6. 26 指定)	京都府行政文書	15, 407点	京都府が行政を行うために管理保存してきた京都府の公文書のうち、京都府立庁前年の慶応3(1867)年から昭和21年度までの文書で、近代の政治、歴史、文化を知り得る貴重な資料です。
4	重要文化財 (平15. 5. 29 指定)	革嶋家文書	2, 459通	京都市西京区川島の革嶋家に伝来した文書で、昭和49年、故革嶋廉三郎氏から寄贈されたものです。鎌倉時代から大正年間の約800年に及ぶ文書群で、革嶋家の歴史を物語るものです。
5	重要文化財 (昭43. 4. 25 指定)	池 大雅 「柳下童子図 屏風」	1 点	江戸時代の画家で、日本の文人画の大成者・池大雅が描いた屏風絵です。平成7年、財団法人池大雅美術館（佐々木もと子館長）から京都府に寄贈された73件、85点に及ぶ大雅の絵画、書跡、関係資料のうちの1点です。
6	府指定有形文化財 (昭59. 4. 14 指定)	袈裟襷文銅鐸	4 口	昭和38年に、京都市右京区梅ヶ畑の宅地造成工事現場から発見された銅鐸で、昭和42年に京都府の所蔵になりました。型式の古さ、「入れ子」の状態での発見、同範鐸の存在など、学術的価値の高いものです。
7	府指定有形文化財 (平21. 3. 24 指定)	古久保家文書	266点	寛文8(1668)年以来、代々上京下西陣組の町代を勤めた古久保家に伝わった古文書です。町代は江戸幕府の京都町奉行所と京都市中の町との間の諸事務を勤めました。御触留、町代の公事番所勤番日記等があります。

※東寺百合文書：18, 705点のうち、国宝が18, 646点、重要文化財が57点（東寺観智院伝来文書典籍類）、未指定が2点。

京都府立京都学・歴彩館資料収集方針

令和2年4月1日

京都に関する資料等を収集し、保存し、及び公開することにより、京都における文化の発展及び学術の振興に資するため、以下の収集方針を定める。

収集した資料は、適切な保存環境のもとで永年保存し、後世に伝える。また、収集した資料を利用に供し、デジタル化をはじめとする媒体変換等の手段を講じる。

なお、行政文書の移管又は引渡しなどは、別の規程等による。

I 図書資料等収集方針

1 基本方針

京都に関する専門図書館機能を十分に発揮するために必要な資料を収集する。資料の収集は、購入及び寄贈等による。非市販資料も対象とする。

2 収集資料の範囲と種類

(1) 収集する資料の範囲は、次のとおりとする。

① 京都に関する資料

ア 現在の京都府の行政区域内に関する内容を含む資料を網羅的に収集する。

イ 「京都府文書の保管、保存等に関する規程」に基づき当館に送付される資料をはじめとする京都府が発行する資料を収集する。

ウ 京都府内の自治体が発行する資料を収集する。

エ 京都府内の団体や個人が発行する資料について、収集に努める。

② 京都に関する調査研究に必要な資料

ア 京都の位置づけを理解するために必要な資料を収集する。

イ 所蔵する図書資料・古典籍・古文書・公文書等について理解するために必要な資料及び館の運営に必要な資料を選択的に収集する。

ウ 古典籍は、資料の来歴も考慮して選択的に収集する。

エ 収集にあたっては、京都府立大学附属図書館及び京都府立図書館蔵書に留意する。

(2) 収集する資料の種類は、次のとおりとする。

ア 図書

イ 雑誌・新聞及びフリーペーパー

ウ 近世以前の古典籍、漢籍等の古書

エ その他必要な資料

II 古文書収集方針

1 基本方針

地域の記憶となる京都に関する歴史資料を収集する。原本の受入は寄附・購入を基本とする。寄託は原則受けない。

2 収集資料の範囲と種類

(1) 収集する資料の範囲は、次のとおりとする。

ア 幕府・藩・公家・寺社等の領主、大庄屋等の文書、仲々間（同業組合）文書、組合・会社文書等、広範な地域・組織に関わる文書を収集する。

イ 町文書・村文書など市町村が収集した方が適当と思われる資料は市町村と調整する。

ウ 個人的な資料（私的書状・書類・日記等）は基本的に収集対象としないが、京都の歴史に関わると評価できる場合は収集する。

(2) 収集する資料の種類は、次のとおりとする。

原本の受入だけでなく、複製物(画像・写真等)での収集を行う。

III 写真資料等収集方針

1 基本方針

京都の歴史・文化・社会を明らかにする上で記録性が高く歴史的価値を有すると認められる写真・映像資料を収集する。芸術性を追求した作家の作品は収集しない。

2 収集資料の範囲と種類

(1) 収集する資料の範囲は、次のとおりとする。

ア 京都の社寺・名所・祭礼・風俗・街並み・建物・風景・人物・事件等を撮影したもので、京都の歴史・文化・社会を明らかにする上で記録性が高く歴史的価値を有すると認められる写真・映像資料

イ 日本の歴史的な風景・資料等で特に記録性が高く歴史的価値を有すると認められる写真・映像資料

(2) 収集する資料の種類は、次のとおりとする。

希少性が高いガラス乾板を中心として収集する。

業 務 概 要

－令和6年度のまとめ－

発 行 日 令和7年8月

編集・発行 京都府立京都学・歴彩館

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町 1-29

電 話 075-723-4831

F A X 075-791-9466

H P <http://www.pref.kyoto.jp/rekisaikan/index.html>

E-mail rekisaikan-kikaku@pref.kyoto.lg.jp